

## 2014 年度総括

人流・物流を大きく変えた「しまなみ海道」。架橋の効果が薄れ、来訪者は右肩下がり、船便の減少という副作用も……。そんな中、島民が見出した地域活性化の方策が「自転車旅行」の振興だった。通過型観光という課題の打破を目標に“海峡をまたぐ自転車道”をオンリーワンの財産として磨き上げ、ふるさとのシンボルにしてきた。「見慣れた橋がブランドになるのか……」「移動手段に過ぎない自転車に乗る旅人がいるのか……」。レンタサイクルの貸出数は一番底の時。振り返れば、闇の中での手探りの活動だった。今、「しまなみ海道」は国内外のサイクリストが注目するルートとして発信され、来訪者は急増する。橋の上はもちろん、まちなかでもサイクリストと出会わない日はない。ゆっくり旅する旅行者と住民が笑顔で言葉を交わすシーンが日常の風景になった。

ここまで住民とともに歩んできた当会も、2014年度は新たなチャレンジの年となった。JR今治駅前には、念願の「ゲストハウス“シクロの家”」を開業。「なみかた海の交流センター」内には、「シクロカフェ」をオープンした。これまでの活動が評価され、「JTB交流文化賞（組織・団体対象）優秀賞」、「手づくり郷土賞（一般部門）認定」を授賞した。まさに住民参画型の活動への賞賛となった。取り組みの方向性は間違っていなかったとの喜び、そしてそれ以上に、今ある自転車の息吹を未来へ橋渡しするための使命感が湧き上がっている。

ここに2014年度の事業についてご報告いたします。自転車による観光振興は他地域でも取り組みが始まっています。しまなみはそんな地域の一步前に行く先進地。そんな評価に値する活動ができているだろうか。自問しながら、取り組みを進めたい所存です。会員の皆様におかれましては、ご意見・ご批評いただきますとともに、引き続き、ご指導・ご鞭撻の程、よろしく願いいたします。

## 目次

2014 年度事業報告	1
I 事業ダイジェスト	1
II 事業詳細	7
2014 年度決算報告	81
2015 年度事業計画	85
2015 年度活動予算	96

# 2014年度 事業報告書

## I 事業ダイジェスト

### 1. サイクリングプロデューサー等人材育成事業（平成26年度緊急雇用創出事業） P7～P24

サイクリスト視点に立った地域資源の活用に専門的知識を有するサイクリングプロデューサーを育てる取り組みを展開。地域と旅人をつなぐ視点を学習するため、サイクルオアシスの整備、マップ製作、荷物運搬サービスを実施した。

#### (1) サイクルオアシスの整備

松山・今治サイクリングコースでおもてなしサイクルオアシスを整備した。



▲しまなみの事例を学ぶミーティング開催。 ▲はまかぜ海道沿線にオアシスを整備。 ▲オアシス巡りのライドを官民一体で催行。

#### (2) はまかぜマップの製作

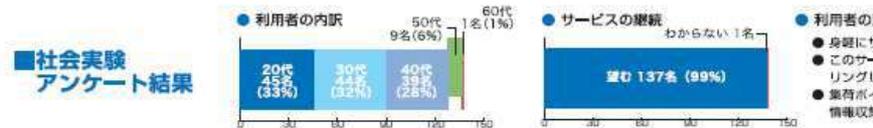
松山・今治サイクリングコース回遊促進ツールとしてマップを製作した。



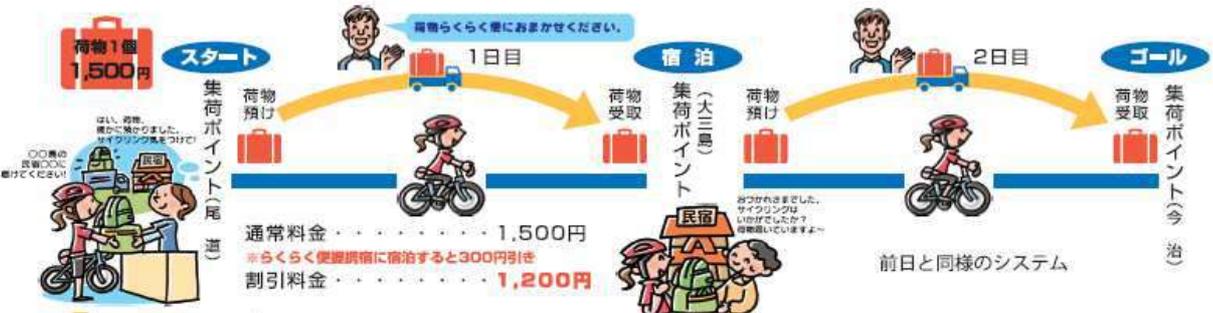
▲国道196号の脇道などを探索する取材。 ▲地図づくりを専門家から指南。 ▲出来上がった地図の配布活動。回遊促進へ。

#### (3) 荷物らくらく便（社会実験）

受入基盤整備の必須サービス目玉として手荷物の当日便サービスのしきみ化を検証した。2015年度以降のサービス提供についてのベースを構築した。



**サービスの流れ** **例えば** 1泊2日でしまなみ海道完走を計画。初日、尾道市をスタートし、その日はしまなみ海道の中間地点となる大三島で1泊。2日目は、朝早く大三島を出発し午後3時頃に今治市でゴール。



成果:「オアシス」「島走マップ」とも整備・製作の範囲を拡充。荷物らくらく便は既存事業者との懇談が進んだ。

課題:「オアシス」のしきみ拡充に伴い、サービスの質の向上を。荷物らくらく便はサービス提供体制構築を。

2015年度の取組	「サイクルオアシス」はまちなか整備を拡充。 「島走マップ」は国道317号線・国道11号線への製作へ。 「荷物らくらく便」は貨物軽自動車運送事業者として、既存事業者とのタイアップへ。	P79～ P92～ P86～
-----------	--	----------------------

2. しまなみ周遊スローサイクリング普及事業（愛媛県東予地方局委託事業）	詳細 P25～P42
--------------------------------------	------------

しまなみ海道の国内外へのアピール、サイクリングへのリピーター増を図るため、誘客促進ツールとしてFacebookページを運営管理し、きめ細かく旬で最新の情報を積極的に提供した。

(1) FaceBook しまなみサイクリングパラダイスの運営



▲Facebookページのトップ画像は季節ごとに変更。 ▲サイクリングや地域情報を定期配信。▲ツアーレポートは旅をイメージでき好評。

成果: 海外サイクリストの投稿記事を織り交ぜ、多彩な情報発信ができた。国内の認知度は格段に向上。

課題: インバウンド受入を意識した情報発信に向け、ホームページの多言語化が目標。

2015年度の取組	FaceBook「しまなみサイクリングパラダイス」発信継続。	P93
-----------	--------------------------------	-----



3. しまなみサイクリング誘客ツアーモデル造成事業(愛媛県東予地方局委託事業)	詳細 P43～P44
---	------------

アクティブシニアにターゲットを絞ったプログラム構築を進めた。地域のオリジナリティを生かし、リラクゼーション、体験、食、宿などのガイド厳選メニューを提示する商品を造成し、販売への足がかりを構築した。



▲アンケート調査を実施。「健康」テーマのイベント構築が求められている結果に。▲地域資源ブラッシュアップとプログラムづくり。

成果: 定期的・継続的にしまなみレジャーサイクリング愛好の可能性のあるアクティブシニアのツアー構築ができた。

課題: ターゲットに届くプロモーション活動の展開が必須。商品の販売力を高めたい。

2015年度の取組	しまなみアウトドアフィットネス2015の開催へ。 なみかた海の交流センターを拠点に開催。	別紙「提案書」 p 91
-----------	---	-----------------

<p>4. 自転車回廊の高速道路がつなく島巡り散走～瀬戸内まるごとサイクルツーリズム構想～  (第七回「観光資源活用トータルプラン」※2015年度までの継続事業)</p>	<p>詳細 P45～P58</p>
<p>しまなみ・とびしま・さざなみ海道を連続した広域サイクリングロードと捉え、広域エリアでのアクティビティ充実、飲食、バックアップ、宿泊等の受入基盤整備を進める。(3年間で瀬戸内まるごとサイクルツーリズム構想を実現)</p>	
<p>(1) ツアー等のアクティビティ充実</p> <p>① アイランドホッピングツアー (3回)  サイクリングと船を組合せ、瀬戸内海を一体のものとして楽しむツアーを造成、催行。</p> <p>② サイクルボートしまなみ号 (3回)  自転車をおのまま積載でき、島々の港で乗り降り自由な新しい船の運行を社会実験。</p>  <p>▲離島巡りは、着地型商品の究極。 ▲地元との交流がリピーター獲得の道と確信。 ▲小型船での運航を意見交換。定期化の模索。</p> <p>成果：地域限定旅行業を取得し、大手エージェントとのタイアップが明確に。滞在型商品造力UP。  課題：小型船を利用し、採算ベースに乗る「サイクルボート」運行継続の模索。</p>	
<p>(2) 休憩・交流機能の充実</p> <p>「なみかた海の交流センター」を「はまかぜサイクルオアシス」総合拠点としてオープン。自転車旅行博物館構想へ着手した。</p>    <p>▲シクロサロンを2回開催。住民参画での地元学習。</p> <p>成果：7月20日に官民協働でオープニングセレモニー開催。シクロカフェをスタート。  課題：しまなみ-はまかぜの中継ポイントとして機能及びプログラム充実は未着手。戦略が必要。</p>	
<p>2015年度の取組 「「さざなみマップ」製作により、トライアングル構想のルートマップが完成へ。  アイランドホッピングツアーの継続実施。瀬戸内商品として定着へ。  オアシス総合拠点のプログラム充実(博物館構想)へ。</p>	<p>P89～</p>

5. 自転車先進都市の玄関口での「サイクルオアシス総合拠点」整備事業	詳細 P59～P69
<p>「JR 今治駅」前に「サイクルオアシス総合拠点」整備。2F 部分はゲストハウスとしてオープンし、旅人と住民のつながりづくり、まちなかの魅力発信による宿泊の動機付けなどを展開した。</p>	
<p>(1) サイクルオアシス総合拠点のオープン</p>	
<p>「しまなみを訪れてくれる旅人に我が家のようにゆっくり過ごして欲しい!」「増えるサイクリストの快適で安心・安全なサイクリングを応援したい!」そんな願いをこめた拠点を7月にオープンした。</p>	
	
<p>▲全国から駆けつけたボランティア。▲見学会でも応援メッセージ。▲白を貴重にした館内は女性に人気。▲リビングでの交流に笑顔。  <b>成果:</b> 念願の拠点オープンに向け、全国から応援ボランティアが集結。地に足のついた活動をスタート。  <b>課題:</b> 11月以降の閑散期運営の営業活動が課題。</p>	
<p>(2) 滞在を促すしかけ</p>	
<p>銭湯、商店街、カフェ・飲食店、スーパー等の周辺情報を増やし、地元回遊を促進。今治市内滞在者をターゲットにしたツアー催行へ向け、モニターツアー開催、販売のしくみを検討した。</p>	
	
<p>▲今治市臨海部「はまかぜ海道」のポテンシャルは高い。手ごたえあり。▲情報ボードも設置。まち案内を。  <b>成果:</b> 食・リラクゼーションなどを「まち」へ求め、集客の吸引力を持つ役割を明確化。  <b>課題:</b> 地域のステークホルダーとの連携、地域情報の収集力を促進すべき。</p>	
<p><b>2015年度の取組</b> 移住・定住にも貢献できる「総合拠点」としてプログラム充実。  「自転車旅の宿」と連携し、今治市臨海部のツアー販売。</p>	<p>詳細 P85 へ</p>

6. その他の委託・販売事業	詳細 P70
<p>当会の経験・技術などを生かし、以下の事業を提携・実施した。</p>	
<p>(1) 自転車ヒロバオープン (上島町との協働/委託事業)  (2) 6人のシクロ・ツーリスト設置 (商品販売事業)  (3) しまなみランニングバイク選手権inレインボーハイランド (松山市野外活動センターとの協働/委託事業)  (4) サイクルオアシス拡充 (商品販売事業)</p>	
<p><b>2015年度の取組</b> ランニングバイク選手権はシリーズ戦として開催</p>	<p>詳細 P93 へ</p>



7. 物品販売	詳細 P77
しまなみ自転車旅行者への情報提供を目指した書籍の販売、おもてなしを意識した土産販売等、しまなみファン・シクロファンづくりを目指し、開発と販売活動を実践した。	
<p>(1) 書籍部門 しまなみ自転車旅行をサポートするツールとして、先行発行している「MAP」に並び、「Book」を発行。</p> <p>(2) 土産部門 しまなみに自転車旅行に訪れる人をターゲットにした商品を開発、販売した。</p> <p>成果:シクロオリジナル商品を手にとることができる店舗数が拡大。 課題:対面販売、提携店販売、インターネット販売の戦略とプロモーションが命題。</p>	
2015年度の取組 新商品(バッグ・タオル雑貨など)のカタログ化。 オアシス総合拠点での対面販売の充実へ。	詳細 P95 へ

8. 講師派遣/9. 審議会委員会への参加	詳細 P77
しまなみ自転車旅行振興による地域活性化の使命を達成する現場として有意義であることから、積極的に参画。観光振興に留まらず、持続可能なまちづくり、暮らしの足元を見直す仲間づくりの啓発を意識しての取組。	
<p>講演形式、ワークショップ等への講師派遣。審議会委員会への委員就任。 企業・教育機関・団体等の依頼に応じ、人材を派遣。</p> <p>成果:視察・研修受入のしくみが構築できた。学生から行政、NPOまで多様な来訪者があった。 課題:サイクリングガイド養成などのニーズが見える。学習プログラム構築、テキスト作成が目標。</p>	
2015年度の取組 依頼に基づき対応。研究プログラムの造成も視野に活動。	詳細 P95 へ

9. 今治市中心市街地再生事業 事務局	詳細 P79
「しまなみ海道」を目的地に来訪する自転車旅行者を、中心市街地まで誘客し、賑わい創出を目指す「サイクル部会」の事務局を担当。	
<p>(1) 回遊ネットワークに対する取組</p> <p>① サイクルオアシス:オアシスミーティングを開催。しくみ拡充のベースを構築。 ② サイクルスタンド設置:6人のシクロ・ツーリスト5体の設置完了。回遊の促進。 ③ はまかぜ海道発信:スマートライドは官民あげてのマナー啓発活動として定着。</p> <p>成果:しまなみの自転車ネットワークのまちなか拡充の3本の矢(オアシス・スタンド・はまかぜ)が確立。 課題:来訪者の口コミ拡散の手立てで交流人口創出。徒歩・自転車・車のシェア等、まちのデザインが必須。</p> <p>(2) 他、活性化に資する取組</p> <p>① スマートライダー育成事業:自転車で旅するようなコース設計が完成。ヒロバ活動が充実。 成果:自転車先進都市・いまばりに相応しい取組として定評。イベント等とのコラボ開催がしくみ化。 課題:啓発事業のため、継続展開には人・モノ・資金等の循環ビジョンを今から準備すべき。</p>	
2015年度の取組 ※部会事業の廃止に伴い、今治市補助事業として以下を展開。 まちなか回遊促進へ向け「サイクルスタンド」回遊イベントを。 まちなかでの宿泊を促すしくみとツアー催行。 自転車ヒロバ・選手権は「なみかた海の交流センター」で開催。 ※なみかたプログラム・まちなかプログラムの相乗効果を。	詳細 P86 へ

## 10. 会議に関する事項について

### (1) 総会

#### ① 第6回通常総会

日時:平成26年5月3日(土) 15:00～ 会場:今治市民活動センター 大会議室

議題:○2013年度事業報告・収支決算報告○2014年度事業計画・収支予算の報告

### (2) 理事会

第1回 日時:平成26年5月3日(土) 14:30～ 会場:今治市民活動センター 大会議室

議題:○2014年度事業計画・活動予算の件○役員・有給役員の件○総会に付すべき事項の件

第2回 日時:平成26年5月15日(木) 20:00～ 会場:今治市民活動センター 大会議室

議題:○「シクロの家」メディア発表の件 ○集客力支援補助事業申請の件

○船活用ツアー等の件 ○「しまなみサイクリングパラダイス」運営管理業務の件

第3回 日時:平成26年7月17日(木) 20:00～ 会場:今治市民活動センター 大会議室

議題:○上島町自転車ヒロバ開設業務の件 ○はまかぜ海道活用の件

第4回 日時:平成29年9月11日(木) 20:00～ 会場:今治市民活動センター 大会議室

議題:○6人シクロ in 多々羅設置 ○なみかた海の交流センター運営業務の件

○ランニングバイク選手権2015の件

第5回 日時:平成26年12月7日(木) 20:00～ 会場:今治市民活動センター 大会議室

議題:○2015年度事業計画・活動予算の件○役員等の件

第6回 日時:平成26年3月3日(火) 20:00～ 会場:今治市民活動センター 大会議室

議題:○しまなみサイクリング誘客ツアーモデル造成事業の件

○2015年度事業計画・活動予算の件○役員等の件

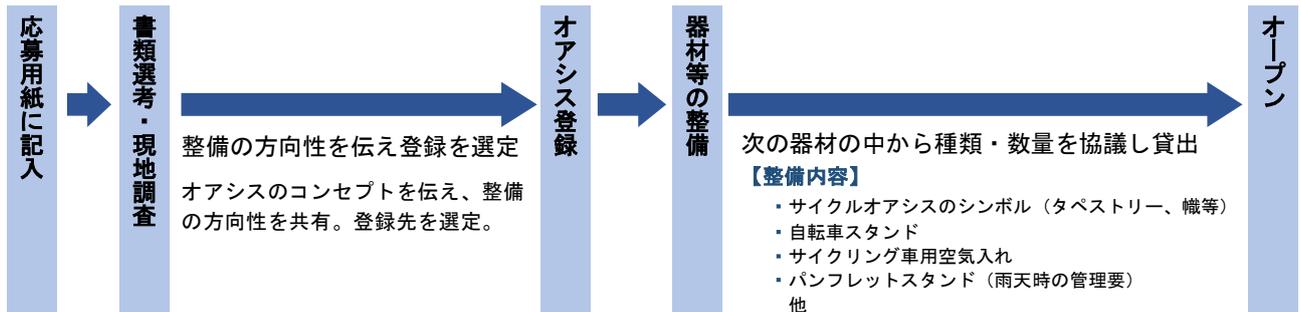
# 1. サイクリングプロデューサー等人材育成事業（平成26年度緊急雇用創出事業） 報告書

サイクリスト視点に立った地域資源の活用に専門的知識を有するとともに、具体的な事業を実施しつつ、地域を訪れるサイクリストをもてなすことができるサイクリングプロデューサーを育てる取り組みを展開した。年間を通して、レジャーサイクリングの企画・PR・実施・評価等を総合的に学習できるカリキュラムを構築し、習得すべき知識・スキルを座学で学びつつ、実践で身につけるため、サイクルオアシスの整備、サイクリスト目線に立ったマップ製作、荷物運搬サービスを実施した。

## (1) サイクルオアシスの整備

松山・今治サイクリングコースでおもてなしサイクルオアシスを整備した。

### [整備の流れ]



### ① サイクルオアシスの公募

公募に先立ち、「サイクルオアシス」の持続可能なサービスのあり方を検討し、松山・今治サイクリングコースへしまなみの生きたしくみをつなごうと「キックオフイベント「オアシスを語ろう！オアシスをつなごう！オアシスミーティング」」を開催した。

## オアシスを語ろう！オアシスをつなごう！ オアシスミーティング

しまなみ海道沿線にある住民手作りに自転車休憩所「サイクルオアシス」。自転車で訪れる皆さんに「家に帰るように立ち寄って」との願いを込めた「しまなみブルーの家マーク（タペストリー）」が見えたら、そこが「オアシス」です。  
「しまなみ海道」ではじまった、このサイクルネットワークは、今治市臨海部ルート「はまかせ海道」へつながり、豊後県下へ拡がろうとしています。



ミーティングでは、実際の「しまなみサイクルオアシス」担い手が現状を報告。タペストリーがあるので気軽に立ち寄ってもらえる、何度も訪れてくれる人もいる等、交流の様子が伝えられた。日帰り・通過型サイクリストも多いなか、回遊・滞在を促す活動への期待感が膨らんだ。飲食店や寺院等の多様な担い手がいる中、相互の情報交換の機会、質の向上を担う「総合拠点」の必要性を確認した。



ミーティング終了後、松山・今治サイクリングコースを実走。エリア内を回遊しながら、快適で安心・安全なサイクリング環境に資するオアシス整備を検討し、沿線の個店を中心に公募情報を発信した。結果、10件からの応募あった。

期 間：平成26年5月25日（日）～6月30日（月）

エリア：松山・今治サイクリングコース（今治港～波方・大西・菊間～松山市道後）エリア

対 象：公共的な空間から個人のお宅まで

要 件：軒先・庭先・駐車場等の一角をサイクリング客の休憩場所として開放していただける方  
 サイクリング客からの要望に応じて飲み水（水道水等）を提供していただける方  
 サイクリング客に対して気軽に話しかけるなど、積極的な交流をしていただける方  
 貸与を受けた器材を良好な状態で管理し、活用状況を年1回報告いただける方  
 サイクリング情報、グリーンツーリズム情報、地域の特産品情報等を提供していただける方  
 サイクリング客のトイレの借用を了解していただける方

## ② サイクルオアシスの選定・整備・運営

応募先を訪ね、ヒアリングを行った。回遊性・担い手の意欲・ポテンシャル等の要素をもとに認定作業を進めた。

### [現地調査カード]

	○△□×	○△□×	○△□×	○△□×	○△□×
① 回遊性(14点) 景観等を楽しめるルート、人・歴史・文化・食等とのつながりをいかせるか ・公共交通との連動 ・他のオアシスとの位置関係					
② 担い手の意欲(14点) オーナー自身にサイクリストへの情報提供や交流のご意欲があるか ・オーナーが自転車好き ・情報力					
③ ポテンシャル(14点) ルート沿線の魅力や特徴といったポテンシャル要素があるか ・今治らしさを感じる立地 ・空間的な魅力					
④ 基礎点(8点) ・水 ・トイレ ・タペストリー ・空気入れの管理					



## 〔設置状況〕

今 治 市	なみかた海の交流センター	今治市波方町波方甲2264-38
	たこたこ亭	今治市菊間町佐方384
	にっしー	今治市菊間町種3569-1
	タバタヤ菓子店	今治市菊間町浜2889
松 山 市	道の駅「風早の郷風和里」	松山市大浦119番地
	ベティ・クロッカーズ北条店	松山市下難波甲1427-10
	モダン焼 秋桜	松山市北条辻463-1
	Cafe-Bistro 桜秋桜	松山市小川甲456
	喫茶 ラ♥ボンヌ	松山市勝岡町1263-2
	サークルK 松山石手店	松山市石手5-1-45

### ③ サイクルオアシスの機能分析 等

「はまかぜサイクルオアシス」オープンにあたり、オープンの告知、運営アイデアの収集等をおこなって、定期的に「オアシス」への訪問を行った。また、サイクリング愛好者を中心に「オアシス巡り」サイクリングを実施した。レジャーサイクリング愛好者の受入による地域活性のために、「しまなみ海道」から続く愛媛県内の魅力的なルート整備によるサイクリングコースのボリューム拡大、おもてなしの体制構築のために進めてきた取り組みを伝える機会として有意義なものとなった。参加者は「しまなみ海道」と連続する「はまかぜ海道」エリアの魅力を堪能しながら、「しまなみ海道」の安全啓発や受入体制のしくみを拡充の重要性を確認。自転車先進都市・いまばり、自転車先進エリア・えひめ形成への大きな一歩となった

### 『笑顔をつなぐはまかぜ海道サイクリング』

実施日：平成26年9月15日（月・祝）7：45～17：00

参加者：39名（県外3・松山市19・今治市17）

内 容：自転車まちづくりに関心がある方、サイクリング愛好者、地元の学生の参加を得て、「はまかぜ海道」沿線にオープンした「サイクルオアシス」に立ち寄りながらのサイクリングを実施。地元学生の参加の様子を見て、まちへの愛着心を高める機会にもなっていることへの賞賛の声があった。

#### ●道の駅「風早の郷風和里」/松山市北条

松山-今治ラインの中継点とも言える拠点。「はまかぜサイクルオアシス」オープンにあたり、国交省松山河川国道事務所が看板を設置。参加者はお披露式に立ち会う。看板を前にはまかぜサイクルオアシスの点在場所なども紹介した。

荒瀬美和松山河川国道事務所長から「道の駅はドライバー利用者のみならず、サイクリストにも是非立ち寄って欲しい」とのメッセージが。



#### ●にっしー/今治市菊間町

「はまかぜサイクルオアシス」認定式を開催。今回、「はまかぜ海道」エリアにオープンした10ヶ所を代表して、フローポンプを受け取っていただいた。「しまなみ海道」からはじまったおもてなしのしくみが拡充する期待が溢れた。

渡邊徹今治市産業部長が贈呈。自転車まちづくりを牽引する「今治市」として、オアシスを応援していく意思表明をいただいた。



●たこたこ亭/今治市菊間町

多様な担い手がいるオアシス。ここはたこ焼き屋の女将さんだ。早速、たこ焼きランチ。「自転車の人がたくさん食べに来てくれる」笑顔でサイクルオアシスになろうと思った心意気を伝えてくれた。



激励に駆け付けてくださった菅良二今治市長。



おもてなしのお礼は参加者を代表して御手洗航君。3回連続スマートライド参加の地元高校生だ。

●なみかた海の交流センター/今治市波方町

拍手で出迎えてくれた波方の皆さん。手作りのおにぎりでのおもてなしも。かつて、対岸の竹原港へのフェリーが出航していた港。港湾ビル跡地をリノベーションし、活用が始まっている。

施設紹介を受け、「地域の活性化に協力していきたい」と感想を述べてくれたのは、地元高校生の渡邊拓海君。



[担い手やサイクリストから聞き取った意見]

●はまかぜサイクルオアシスの担い手の意見

- ・「はまかぜ島走マップ」は好評である。
- ・自転車スタンドをおいてくれて助かった。
- ・定期的に情報をくれるのでいい。
- ・サイクリスト向けの商品（お土産など）があるオアシスがあればいい。
- ・サイクリストがどんなことを求めているかわからない。

●はまかぜルートの走行サイクリストの意見

- ・海沿い美しいルートなのでもっとたくさんの人に認知してもらいたい。
- ・オアシスが走る目標地点になるのでいい。
- ・交通量が多いので道を広げてほしい。
- ・線路沿いなので、いざとなれば輪行できるので安心。
- ・防波壁が風景を妨げているのが残念。
- ・お遍路道を走るのもおもしろい。

潮風浴びて 自転車快走

40人休憩所で交流も 松山と今治の両市を 海岸線沿いに結ぶ「はまかぜ海道」のサイクリングツアーが15日あり、若者男女40人余りが潮の香りに包まれたコースを快走し、途中に設けられた自転車休憩所の担い手と交流した。

NPO法人シクロツアーズが、はまかぜ海道の見どころを紹介したマップ完成や、住民手作りの休憩所「サイクルオアシス」が沿線各所にオープンした記念に開催した。

コースはJR松山駅をスタートし、今治駅にゴールする約66キロ。

参加者は海と島、船が織りなす瀬戸内の風景を眺めながら走り、飲料水やトイレなどを提供するオアシスで一息ついたり、ランチを楽しんだりした。

今治市菊間町種のタオル・果物販売店「にっしー」ではオアシス認定式があり、自転車通勤者の呼び名「自転車ツーキニスト」を広めた足田智さん(47)が東京都が「オアシスがあると休めるし情報が得られる。一つ一つ巡ると達成感もあつていい」と述べた。

また、参加者は「シエア・ザ・ロード」と書かれたTシャツを着用し、マナーを守った安全走行をPRした。(宮野雄)

松山-今治「はまかぜ海道」

サイクルオアシスで休憩する、はまかぜ海道サイクリングツアー参加者

●平成26(2014)年9月16日 愛媛新聞



(2) マップ製作研修

松山・今治サイクリングコースでサイクリスト視点にたったマップを製作した。

①企画・調査

[事前準備]

地図製作の専門家との懇談を行いながら、盛り込みたい情報を棚卸しし、その情報を集約する作業を繰り返した。先行して完成している「しまなみ海道」マップのベースに、情報を「点・線・その他」に区分し、「とびしま海道」マップに必要な情報及びレイアウトを検討した。

(掲載したい情報とその優先順位)

優先	掲載したい情報	掲載の仕方	区分	意見交換
A	現在地の確認		点	■現地調査 ・ランドマークを見つける
A	道路案内	詳細道路記載(2条線記載) 島の周回を紹介 農道・林道・登山ルート紹介	線	■メインルートはブルーラインに設定 ・サブコースの構築 ・地域の特色を活かしたルートの開拓
A	行きたいところ	最高所への道のりをマーク 景観のお勧めポイント	点	■コース設定 ・隠れスポットの情報掲載
A	トイレ (店舗併設も含)	公衆トイレの網羅	点	■現地調査
A	サイクリストに優しいポイント①		点	■聞き取り調査 ・サイクリストに優しい店(給水・トイレ) ・住民交流促進の給水ポイントを差別化。
A	所要時間	プロフィールマップの作成		・標準時間を算出のための距離・勾配明記 ・道の選択の際、利便性
A	人の情報 (地域の有名人)	解説は裏面	他	■取材調査 ・人物エッセイを掲載
A	展望スポット (写真撮影エリア)	解説は表面	点	■打合せ必要 ・景観ポイント、隠れスポット、視点の多様性
A	地域の行事	一覧表	他	・期間限定情報として欲しいが見送り。
A	峠・展望台	マニアックなおすすめルート	他	■地形判読 ・勾配表示 ・周回ルート上で「峠」を選定 ・展望台のある「山頂」は掲載必須 ・展望台から望める景観の表現
A	注意箇所	大型車交通量・路面状態	点	■聞き取り必要・現地調査
A	港	場所明示・航路記載 時刻、行き先は裏面記載	他	・既存情報あり
B	高低(断面図)	推奨ルート プロフィールマップの作成	他	・地形の読み取りが必要。 ・国土地理院からも取得可(著作権確認)
B	サイクリストに優しいポイント②	連絡先のみ掲載	点	■詳細調査 ・サイクリストの頼れる場所(修理、応急処置)
C	潮汐表	裏面	他	・潮汐表の解説が必要。必須でなく見送り
C	通行量		他	・交通センサス(国土交通省) ・曜日、季節により変化あり
C	路面の状態	舗装道か未舗装道か	線	■現地確認 ・一般道か農道か農免道路か ・理想を言えば、路側帯の幅 ・歩道の有無

### [地元住民からの意見収集]

住民ならではの情報、地元サイクリストのニーズを収集することを目的に、ヒアリングを行った。



### [地図の大きさの検討]

情報量と完成紙面の大きさ等を総合的に勘案し、縮尺サイズと照らし合わせ、裁断面を検討。行政エリア等に考慮しながら、編集・デザインのイメージをつくった。その後、既存の情報誌との差別化を意識し、情報区分を精査。ルートを全て自転車で調査し、緻密な距離と高低差等の数値を記録した。

- ・ 1日に約80kmを走行するサイクリストにも対応縮尺→3万分の1 or 2万5千分の1
- ・ 集落の路地も説明できる縮尺→1万分の1 or 5千分の1
- ・ 持ち歩くことを考えるとコンパクトな大きさ（かさばらない枚数）
- ・ 3つの島を別々に載せるメリットと3つの島が1枚で確認できるメリット



全体図	1/10万 ~ 1/20万
メイン図	1/3万
一部縮小図	1/10万
*縮尺は各編・各島統一（島の大きさに応じて、用紙の大きさ（A2&A2+α）は変更）	
*別枠図の作成・・・陸地部呉市内までの案内地図を別枠で記載	
*詳細な道路・・・国土地理院地形図・都市計画図を活用	

### ② デザインデータ作成

掲載情報の収集にあたっては、自転車に優しい場所や食事ポイント等の拠点情報を開拓する等、地元ガイドにしか網羅できない情報を整理した。情報を掲載記事化するにあたり、デザイン、レイアウト、図表・イラスト等をまじえ、わかりやすく表現する作業を進めた。

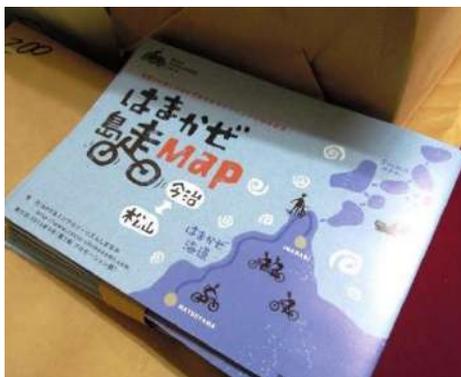




### ③地図データ作成

ルート、ランドマーク等をイラスト作成により編纂、配置する等の作業を進めた。

日帰りの気軽なサイクリングから、宿泊を伴うシクロツーリズム促進を目指す媒体製作となった。



(3) 荷物運搬サービスの実施

しまなみ海道で好評を博している、荷物運搬サービスを実施、しくみ拡充を進めた。

内 容 尾道市-今治市片側一方通行の手荷物運搬

完全事前予約制でサイクリング当日に預かった荷物を、同日中に受け渡すサービス

料 金 無料

実 績 利用者数 192名



ア 尾道発で実施できる荷物運搬サービスの提携先選定

イ 荷物運搬サービスの実施

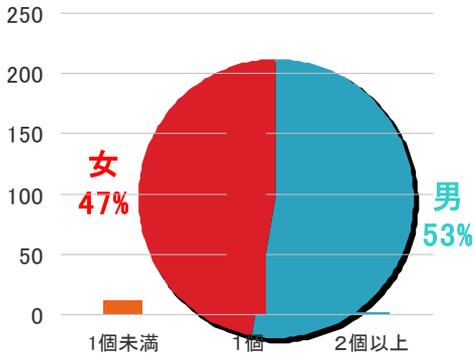
ウ 利用者アンケート分析 等

[利用実績]

年月(運搬日)	利用者数	個数/日(平均)	重量(平均)	荷物形状
H. 26/5月 (4日)	24名	2個~10個 合計:24個 平均1個/1人	1.5~9.5kg 平均4.1kg	・リュック14個 ・バック4個 ・キャリー4個 ・そのほか2個(ビニール袋)
H. 26/6月 (0日)	0名			
H. 26/7月 (4日)	8名	1個~3個 合計8個 平均1個/1人	4.5~13kg 平均7.9kg	・リュック2個 ・バック3個 ・キャリー4個
H. 26/8月 (9日)	28名	2個~8個 合計28個 平均1個/1人	1.5~10kg 平均5.9kg	・リュック3個 ・バック9個 ・キャリー14個 ・そのほか4個(ナップザック・紙袋)
H. 26/9月 (2日)	13名	5個~8個 合計13個 平均:1個/1人	2.5~6.5kg 平均4.2kg	・リュック2個 ・バック6個 ・そのほか5個(スーツケース)
H26/10月 (4日)	19名	3個~9個 合計19個 平均1個/1人	2.5~12kg 平均5.6kg	・リュック10個 ・バック7個 ・そのほか3個(スーツケース)
H. 26/11月 (5日)	75名	2個~36個 合計65個 平均:0.77個/1人	2.5~12kg 平均5.7kg	・リュック17個 ・バック29個 ・そのほか14個(スーツケース・ディパック・ビニール袋)
H. 26/12月 (2日)	4名	2個~2個 合計:4個 平均:1個/1人	7.0~9.0kg 平均 8kg	・バック2個 ・そのほか2個(スーツケース)
H. 27/1月 (1日)	2名	2個~2個 合計:2個 平均:1個/1人	3.5~5.0kg 平均4.2kg	・バック2個
H. 27/2月 (2日)	9名	1個~1個 合計:9個 平均:1個/1人	4.0~9.0kg 平均4.2kg	・バック7個 ・そのほか2個(スーツケース)
H. 27/3月 (3日)	21名	1個~1個 合計:21個 平均:1個/1人	2.8~8.5kg 平均5.4kg	・リュック3個 ・バック7個 ・そのほか14個(スーツケース・ディパック)

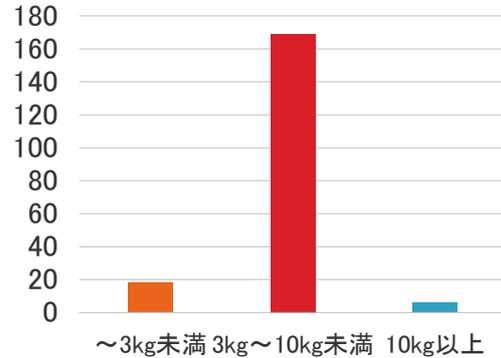
[個数]

個数	人数
1個未満	11
1個	193
2個以上	1



[重量]

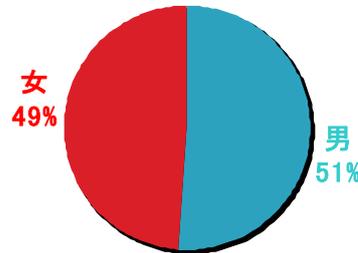
重さ	個数
～3kg未満	18
3～10kg未満	169
10kg以上	6



②荷物運搬サービス社会実験アンケート結果（有効回答数：168）

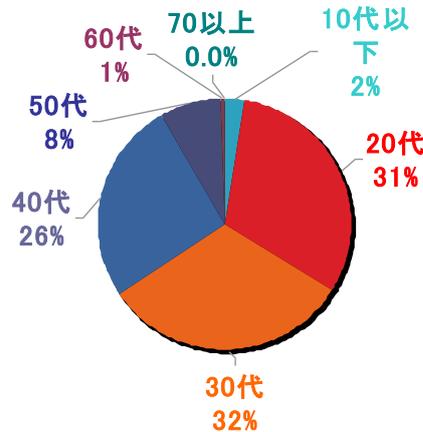
i-性別（人）

男性	86
女性	82



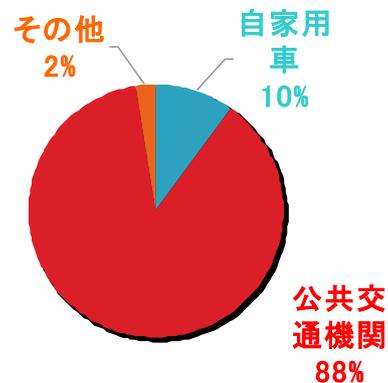
ii-年齢（人）

10代以下	4
20代	53
30代	53
40代	44
50代	13
60代	1
70以上	0



iii-しまなみへの交通手段（人）

自家用車	17
公共交通機関	147
その他	4



公共の交通手段の内訳（複数回答可）

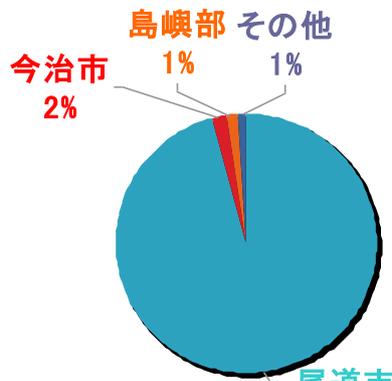
- ・新幹線（45）
- ・JR、電車、在来線、鉄道、18きっぷ（48）
- ・バス・高速バス・夜行バス（6）
- ・飛行機（25）
- ・未回答（48）

iv-サイクリングスタート地点（人）

尾道市	161
今治市	3
島嶼部	2
その他	2

島嶼部の内訳

- ・未回答（2）

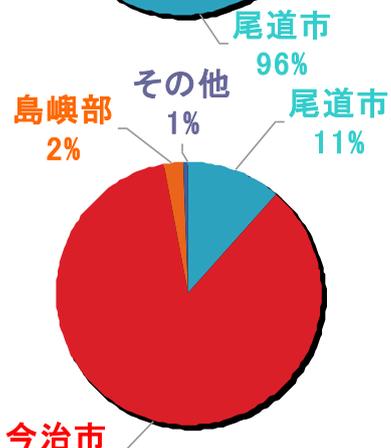


v-サイクリングゴール地点（人）

尾道市	19
今治市	144
島嶼部	4
その他	1

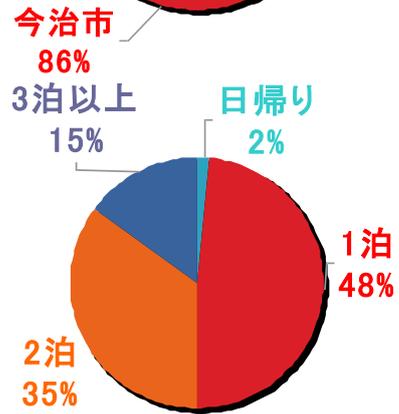
島嶼部の内訳

- ・大三島（3）
- ・未回答（1）



vi-旅行日程（人）

日帰り	3
1泊	81
2泊	59
3泊以上	25

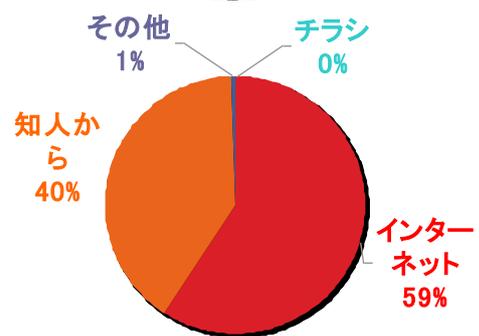


vii-サービスを何で知ったか（人）

チラシ	0
インターネット	99
知人から	67
その他	2

その他の内容

- ・以前利用したことがある
- ・家族

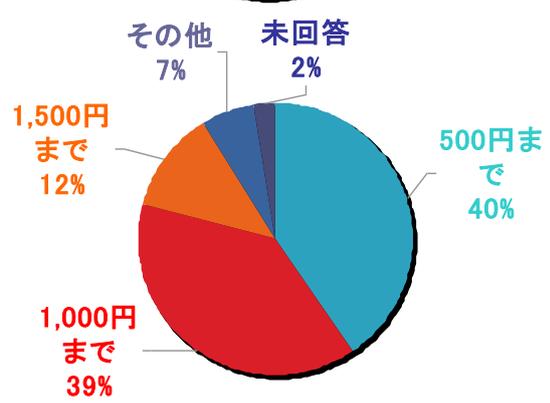


viii-利用料金はいくらが適当か（人）

500円まで	68
1000円まで	65
1500円まで	20
その他	11
未回答	4

その他の内容

- ・大きさで料金設定。1個500円～1000円まで
- ・家族割り等の割引サービスがほしい

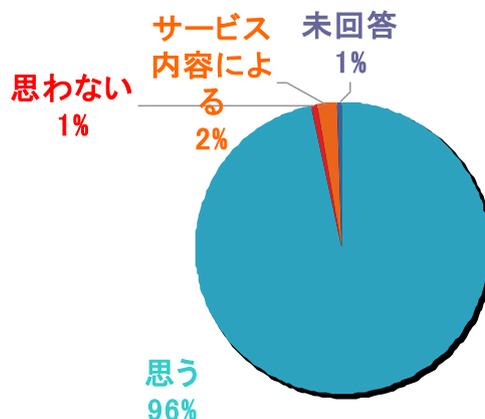


xi-次回もサービスを利用したいか（人）

思う	163
思わない	1
サービス内容による	3
未回答	1

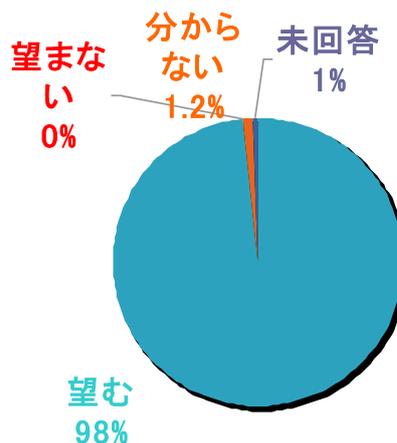
内容によるの内容

- ・荷物の保障があるかどうか



xii-サービスの継続を望むか（人）

望む	165
望まない	0
わからない	2
未回答	1



③荷物運搬サービス化の検討

アンケート結果をいかし、本格稼働へ向け、企画会議を実施。

以下の提案書を造成した。

(1) 事業プラン名
自転車の聖地「しまなみ海道」のインフラ整備“しまなみ荷物らくらく便”
(2) 事業プラン考案の動機
サイクリング中の手荷物は快適なサイクリングを阻む課題の筆頭にあげられている。身軽な旅を支えるサービスとして事業化したいと考える。ビジネス性はもちろん、受入基盤強化を進める聖地・しまなみだからこそ気づくニーズであり、また利便性というユーザーの潜在的ニーズを掘り起こすサービスである。しまなみのブランディングを強化する活動として取り組みたい。
(3) 2014年度のOJTで学んだ技能や経験等
しまなみ自転車旅行を計画する県外来訪者への電話相談、マップやガイドブック発行による情報提供に努めてきた。また、島の中や臨海エリアのルートを発信し、住民との交流や飲食・宿泊・リラクゼーション・土産購入などのサービス提供を試行する中、サイクリング中の手荷物、中でも宿泊を伴う旅の荷物への困惑の声が聞かれた。 今年度は5名のスタッフが交代で、予約制によるサイクリングの起点から同日中の終点到荷物を運ぶ社会実験を担当した。サービス継続を望む声はほぼ100%で、多様な世代に指示された。アンケート結果などを踏まえ、サービス展開の概要、収益分岐点となる搬送個数の確保及び単価の試算を進めると共に、サービス提供者としての技術獲得、有償輸送に必要な貨物軽自動車運送事業経営の届出などを進める準備をしているところである。

#### (4) 事業の概要

社会実験において、既存の運送業は搬送の効率化から、集荷物を一度、中枢地（例えば、松山市など）に集中させるしくみが機能しており、早朝に預かった荷物を同日の夕方までに指定場所に届ける「当日便」の対応が難しいことが分かった。また、県境をまたぐ橋「しまなみ海道」においては、運送業者の管轄が中国地方、四国地方で分断される事情も見えてきた。そこで、自転車旅行を推進する先進都市として、サイクリングの起点で預かった手荷物を、同日中に終点の指定場所に運ぶ「当日便」サービスを、既存の枠組みに捕らわれない集荷のしくみ（運搬ラインの立ち上げ）により実現したい。ロット数を確保できる土日・祝日はもちろん、個人旅行を支えるサービスとして平日の小ロット対応も行なう週休2日制（水・木）でサービスをスタートしたい。燃料費、有料道路使用料などのランニングコストと社会実験における利用者の金額への相場感から、ポストンバッグ1個を1,500円に設定することを検討している。3年後には手荷物に留まらず、旅人の行程に合わせ、片路の自転車そのものの搬送サービスにも対応できるしくみに育てることを目指す。荷物の流れをオペレーションし、搬送するスタッフを専従雇用し、聖地・しまなみを支えるオンリーワンサービスとして機能させたい（「別記2」サービスの流れ）。

#### ②ターゲット及び顧客

2008（平成20）年、アンケート調査会社からのモニター貸与による3,000人のWEBアンケート調査等を実施し、自転車旅行のマーケットの分析を進めた。また2011（平成23）年にはしまなみ海道をサイクリング中の旅行者など600人に記述式アンケートを実施し、両アンケートにおいて、手荷物やMY自転車を搬送して欲しいニーズを把握した。また、社会実験の中で当該事業のメインターゲットはサイクリストビギナーで、本州・尾道市から入り、中間の島・生口島、大三島で宿泊し、四国・今治市でゴール、さらには道後温泉へ足を運ぶ傾向が見られた。格安航空券を利用し、四国から入り、尾道市へゴールする行程を選択する旅人も増えつつある。行程を勘案し、JR尾道駅及びJR今治駅周辺の指定場所において荷物を受け取り、利用者指定の場所（宿泊施設など）に搬送するサービスを確立したい。「このサービスがなければ来訪を諦めていた」との声があるように、サービス提供によりビギナーサイクリストの来訪意欲を喚起できるものである。今後、スポーツバイク初心者が増加することは、スポーツバイク需要の高まりから推測でき、自転車市場は着実な拡充が予想される（「別記1」自転車市場の拡がり・スポーツ自転車の普及・拡大）。MY自転車を保有するユーザーは、聖地・しまなみへは「一度は行ってみたい」、「また行ってみたい」との声があり、当サービスのターゲット層の拡充は大いに見込まれると考える。

#### ③マーケティング、営業戦略（顧客アプローチの方法、販売チャネル、プロモーションなど）

過去の社会実験利用者へサービス開始を告知し、レポート利用及び自転車愛好者へ周知を徹底する。集荷ポイントなどとして提携する島々の担い手とパートナーシップを構築し、つながりをベースにした情報発信にも取り組むと共に、行政とのタイアップにより、愛媛県東京事務所などの首都圏でのサービスアピールの機会、日本No.1のエンドユーザー対象の自転車見本市「サイクルモード（毎年秋に開催）」での告知、全国各地の自転車大会でのチラシ配布の機会を得たい。荷物を届けるというサービスだけでなく、当法人が取り組むサービス（マップやガイドブックなどの購入者・ツアー利用者）の顧客（約6,000人）へも情報提供する。サイクリングという趣味の分野という明確なターゲット層があることから、facebookやツイッター、YouTubeなどSNSを中心に発信し、口コミ拡散を促進する。特に「自転車女子」がつながるネットワークは多数存在し、ターゲットに届く情報拡散に戦略的に取り組むことができると考える。なお、サービスの販売については、インターネットでの申し込みが可能なしくみを構築する。

(4) 研修・座学編 (OFF-JT)

上記、実務経験のほか、座学研修 (講義・視察) を実施した。

**研修1-①: オリエンテーション「自転車旅行ブランド戦略」 〈座学〉**

日時: 平成26年5月1日 (木) 10:00~12:00 研修時間: 2時間

内容: 自転車で渡れる橋「しまなみ海道」という他に類を見ない地域資源を、地域ブランドに高めようとする取り組み「住民参画型自転車まちづくり」を歴史的に学習。特に、自転車旅行のマーケットを調査・分析し、サイクリング環境の整備を進めてきた地道な活動を共有した。自転車の聖地として認知度向上を受け、「しまなみ海道」におけるサイクルネットワークを愛媛県全域に拡げていこうとの構想があることを確認し、自転車の休憩所「サイクルオアシス」の拡充等、今後、進める業務の意義を学んだ。

	路地裏	山頂制覇	アップダウン	長距離	住民との会話
サイクリスト	53.9%	36.6%	35.6%	37.7%	27.2%
一般	38.1%	22.2%	18.3%	13.1%	15.9%

ターゲットグループ 及びサイクリングの 経験・希望	マップ	看板	安価な宿	ガイドツアー	ドリンク	軽食	荷物搬送	マイカーの回送	自転車の事前受取	エクササイズ	トラブル対応	シャワー	その他
全ターゲットグループ (N=2114)	76.5	59.2	51.1	15.8	37.3	33.7	33.8	28.5	23.8	10.5	51.4	24.4	2.3
趣味 (N=191)	83.2	58.1	51.3	18.3	36.1	37.7	26.2	30.9	27.2	13.6	49.2	30.4	2.6
希望 (N=971)	79.0	61.9	54.7	17.9	38.9	35.6	33.5	28.0	23.7	11.8	52.4	26.2	2.5
条件次第 (N=952)	72.6	56.7	47.4	13.2	35.8	30.9	35.6	28.6	23.2	8.6	50.7	21.4	2.1

**[持続可能な振興のための意見]**

**★サイクリング振興によって解決したい課題は? その社会的意義は?**

点在する豊富な観光資源を線・面で演出できていないために滞在時間が短い。滞在型観光地に変わること、地域経済が活性化すると共に、農業従事者をはじめとする体験受入の担い手の住民などの生きがい、やりがい生まれる。過疎高齢化する地域の持続的な活力の創出につながる。

↓

**★今年度のチャレンジ**

2007年度の取り組みで見出したスローサイクリング(「暮らし」の体感)というブランドイメージは正しいと感じた。しまなみの過去の実践である島民参画のもとにワークショップに開催による、地元目線で都市住民へ訴求力の高いモデルツアーを開発したり、来訪者とのインタラクティブ(相互作用)なサイトを構築したりする取り組みをしまなみ海道沿線にも拡充したい。その際には、スローサイクリングのイメージを損なわないようガイドラインを作成し、指標とする。沿線の魅力を体得している住民と、利用者目線と現場感覚を持ったプロデューサーとして配置することが必要で、研修後のサイクリングプロデューサーとしての業務従事のガイドラインを策定、サイクリングガイド養成が必要である。

**研修1-②：自転車旅行ブランド戦略 「サイクリスト受入基盤整備」(座学・視察研修)**

日時：平成26年7月23日(水)・24日(木)

研修時間：各8時間(内ミーティング1.5時間/前後 準備・反省会)

内容：スポーツバイク需要の拡大、重層化するサイクリストなど、市場分析を進めると同時に、誘客のプロモーション活動へのアイデア交換を行った。サイクルトレイン、サイクルオアシス等の愛媛県内のサイクリスト受入基盤整備を先進事例と捉え、学習、同様の基盤整備にチャレンジしている宮崎県の担当者とのミーティング、下諏訪の住民グループとの懇談、県内の交通事業者、観光事業者、地元NPO等を対象にした講演会への参加による学習を進めた。住民参画型の活動の歴史、マーケットを意識した取り組みの重要性、官民協働体制の構築について、改めて確認した。愛媛県内の事例を他者に伝える活動を通して、自らの発信力向上にも通じる研修となった。

**添付資料1 マーケット分析**

**■自転車市場の拡がり**

スポーツ車のさらなる充実が自転車市場の展開を牽引している。



**■スポーツ自転車の普及・拡大**

近年、スポーツ車、電動アシスト車の販売台数が大きく伸びており、スピードが出せる自転車が増えている。



作成：シクロツーリズムしまなみ

**研修2-①：商品開発・コミュニケーション「自転車旅行マップ」(座学)**

日時：平成26年5月3日(土) 13:00~19:00 研修時間：6時間

講師：柴田剛氏(株式会社エアロ・フォト・センター)

内容：オリエンテーションにおいて確認した市場調査の振り返りから研修をスタート。市場調査の結果、最もサイクリストのニーズが高かったマップについて自らが製作の担い手となることができるよう、地図づくりのノウハウを学ぶ研修を行った。自転車を楽しむための自転車ロードマップの製作に向け、現地を実際に自転車で取材・写真撮影し、地域資源の発掘を行い、地域の魅力増進につながるマップの作成のプロセスを理解した。今後、業務において、フィールドワークを展開するベースをつくった。



## 研修2-②：商品開発・コミュニケーション「宿との連携」(座学・視察研修)

日時：平成26年5月16日(金)・23日(金)・27日(火)・28日(水) 2名参加  
6月11日(水)・18日(水)・20日(土)・23日(月) 2名参加  
9月9日(火)・10日(水) 1名参加

研修時間：各4時間(内ミーティング1.5時間)

内容：滞在型の宿泊施設の地域活性化への可能性を学ぶことを目的に関西圏2件の宿泊施設のヒアリングに出向いた。空家や寺を改装してオープンした2件の宿泊施設を選定。どちらも1泊から2週間程度の短期滞在型、半数以上が外国人客であり、回遊・周遊を促進するしなみの宿の目指すべき方向性に近い宿を選定し、ヒアリングを打診した。

インバウンド受け入れに際して、コミュニケーション等のハードル他、懸念材料については、語学力がなくても現場対応できていること等がフィードバックされた。また、同時に、総務省が行っている翻訳アプリの紹介を受けるなど、多様な支援が展開されている情報を得た。

愛媛県内の道の駅や産直市場、四国(香川方面)の宿泊施設「ゲストハウス風のくぐる」「若葉屋」「ゲストハウスちよつとこま」、観音寺市観光協会などのヒアリングも展開した。香川の宿泊施設は本州の玄関口となり、一泊した後、近隣へ移動する動線が見られ、連携の意義を感じた。主要道にある道の駅ではサイクリストの立ち寄りが増えているとの情報を得た。



### [座談会での意見]

- テーマ性のある旅へのシフト：自転車+エコ・産業・景色・研修・癒し

※個店の努力を、地域のブランドへ 点→線→面 へ

- 旅人の求めるもの

「不便」はいい 「不快」はいや …清潔感は最低条件。特にトイレ。

「簡素」はいい 「貧相」はいや …お布団、タオルはリッチに！

「何もない」はいい 「何もできない」はいや …ないことは事前に伝えると魅力に

(感想)

- ・伝えること、体験することを通してうらやましがらせることができないか。
- ・自分達の特技をネットワークをいかしながら伝えたい。
- ・手づくり新聞がつかれないか。ホームページと合わせ・・・。
- ・キャッチコピーをつくりたい。

例：時間を気にする人には向いていません。「あたりまえ」に出会える場所です。



**研修2-③：商品開発・コミュニケーション「サイクリスト向け土産」〈座学・ワークショップ〉**

日時：平成26年6月20日（金） 研修時間：8時間

内容：年間17万5千人がサイクリングを楽しむエリアとして認知度向上が評価される一方、サイクリストの購買意欲を喚起する商品開発には課題が多い。道の駅等の立ち寄り施設の商品ラインナップを意見交換し、サイクリスト向けの地域ブランドについて意見交換した。



**★試作品として提案があった商品**



しまなみ箸置き  
しまなみの島々をモチーフにした木製箸置きセット。パズルのように収納して楽しんで。



タオルキーケース  
今治タオルを使った収納タイプのキーケース。ハンドメイドのひと品をオシャレのアクセントに。



シクロの風守り  
旅に連れて行って欲しい！シクロスタッフの遊び心から生まれた手づくりマスコット。素材は今治タオル！ギフトのアクセントにもどうぞ。  
サイクロン・シャーリン・



オリジナルポストカード  
シクロスタッフが厳選した風景写真・自転車好きデザイナーのイラスト

**★デザインやコストなどで商品化が非合理だった商品**



### 研修3-①：オペレーション「ホスピタリティ・語学・安全管理」〈座学〉

日時：平成26年5月25日（日）16:00～17:15

講師：藤原真理氏（大三島ふるさと憩いの家）

西部知香氏（ファームイン ポーチュラカ西部）

森日出美氏（民宿 千和）

鐵山治彦氏（アイン美容室）

内容：一般参加を募り、ミーティング形式で開催

自転車旅行者を迎えるホスピタリティの理想的なしくみとして整備されている「しまなみサイクルオアシス」の現状をミーティング形式でヒアリングした。自転車の聖地・しまなみの認知度向上と共に、サイクリング環境の整備が充実しつつある中、住民参画型のしくみが全国的にも注目を集めることを事前に学習して、ミーティングに参加した。



### (5) 研修・座学編 (OFF-JT)

上記、実務経験のほか、実習（地域実習）を実施した。

#### 研修1：サイクルオアシス担い手ヒアリング活動

平成23年度に整備した「しまなみサイクルオアシス」の機能充実を目指し、担い手のヒアリングを実施した。オープン当初から船の待ち時間までの休憩やトイレ利用で訪れるサイクリストが多く、空気入れの借用もあるオアシス。体験や食事ができるオアシスでは、目的地としての来訪も見られる。サイクリストウェルカムの雰囲気たくさんのサイクリスト全く来訪がないオアシスもあるなど、担い手のやりがいの創出面では課題が感じられた。



オープンした「しまなみサイクルオアシス」の情報をサイクリスト等に伝え、回遊を促すと共に、担い手のヒアリングを行い、運営の現状を把握した。まちなかエリアでもサイクリストの走行を見かけることが多くなったものの、オアシスの利用は多くないとの声。オアシスマップを配布し、情報を伝える中で、目的地となる飲食等のポイント等、まちなか回遊の楽しさの発信を強化する等の目標を共有した。

#### 研修2：サイクリスト目線に立ったマップ製作のための資源調査

旅の必需品であるマップ製作の技術的なスキル獲得と合わせ、地元ならではの情報収集を進めた。日頃からの住民との交流、生活者目線があるからこそできるマップであることを共有できた。

完成品を取材先に届けると「待ってました。」「店にも掲示していいですか」などの賞賛をいただいたり、地元住民が欲しいと言ってくれたりする場面があり、やりがいと達成感を感じながらの業務遂行となった。来訪者増加、回遊促進という成果に結び付けたいとスタッフ一同が認識を新たにしました。





### 研修3：オペレーション「ホスピタリティ」（ガイド実践）

地域と旅人をつなぐ担い手、サイクリングガイドのスキル獲得を目指し、自転車の基本的なメンテナンスを学んだり、しまなみ海道エリアを実走したりする研修を行った。サイクルオアシスに立ち寄りながら、住民との交流を促す役割を学んだこと、地元の交通事業者との懇談によるサイクルツーリズムへの理解を高めあったことなどの成果を確認しあった。地域資源をいかした滞在型観光による地域活性化が目指される中、ガイド自身が生きた地域の資源（＝人材）であるという使命感が必要なことが認識できた。



### 研修4：荷物運搬サービスのしくみ化のための提携先ヒアリング

自転車旅行を推進する先進都市として、サイクリングの起点で預かった手荷物を、同日中に終点の指定場所に運ぶサービスは、JR四国が展開する「自転車を積載できるサイクルトレイン」、沿線のコンビニも参画する「サイクルオアシス」と並ぶサービスになるとの認識を地域の多様なステークホルダーに説明した。荷物運搬のオペレーションは業務の中で培ってきたが、既存の荷物搬送の枠組みに捕らわれない集荷のしくみ構築には、集荷ポイントの整備など、課題が山積していた。実現に向け、これまでの活動で信頼関係が構築できている提携宿泊施設に預かりポイントのパートナーとして提携していただけるよう依頼すると同時に、明確な役割分担や双方のメリットを共有していく、地道な活動となった。



## 2. しまなみ周遊スローサイクリング普及事業（愛媛県東予地方局委託事業）

瀬戸内しまなみ海道をサイクリストの聖地としての魅力を広く国内外にアピールするとともに、サイクリスト同士のつながりを深め、しまなみサイクリングへのリピーター化を図るため、誘客促進ツールとしてFacebook ページを運営管理し、きめ細かく旬で最新の情報を積極的に提供した。

### (1) フェイスブックのデザイン、取材、編集及び作成全般

#### ① カバー写真

瀬戸内しまなみ海道がサイクリストの聖地としてアピール又は連想するものを使用した。

～5/2



5/3～8/7



8/8～8/31



9/1～10/11



10/12～11/17



11/18～12/6



12/7～1/16



1/17～



#### ②投稿内容

ア. 実走・滞在体験で得たしまなみライドの魅力や地域資源情報を投稿、瀬戸内しまなみ海道のサイクリストの聖地としての認知度の向上を目指した。特に高齢者、女性視点を大切に、ビギナーサイクリング愛好者に役立つ情報を投稿した。

投稿数：77本

#### 5月の投稿レポート

ツーリングレポート【タンデム自転車まつり～離島の大崎上島一周&しまなみハーフライド編～】

1日目

日時：平成26年3月29日（土）12：00～

ルート：今治港→大崎上島→大三島宗方（泊）

距離：33km

所要：5時間30分



ツーリングレポート【タンデム自転車まつり～離島の大崎上島一周&しまなみハーフライド編～】

2日目

日 時：平成26年3月30日（日） ～16：00

ルート：大三島南岸→伯方島→大島→今治市内

距 離：46km

所 要：6時間30分



ツーリングレポート【おいしいもん食べつくしのプチグルメ大島編・今治市街地】

ルート：JR波止浜駅→大島・下田水港→吉海商店街→

よしうみバラ公園→大浜→今治市街→JR波止浜駅

日にち：平成26年4月19日（土）

距 離：40 k m

所 要：8時間



6月の投稿レポート

ツーリングレポート【珍島物語を間近に！『ミステリー海割れツアー』】

ルート：JR波止浜駅→大島→伯方島・伯方SCパーク→

大三島・鼻栗瀬戸展望台→伯方島・大角豆島→

JR波止浜駅

日にち：平成26年4月27日（日）

距 離：70 k m

所 要：8時間20分



ツーリングレポート【“とびしま島走Map”を片手に！チャレンジとびしま一周ツアー】

ルート：今治港→大崎下島→豊島→上蒲刈島→下蒲刈島→

上蒲刈島→豊島→大崎下島→今治港

日にち：平成26年5月4日（日）

距 離：63 k m

所 要：9時間20分



## 7月の投稿レポート

ツーリングレポート【大島・今治市街を食べつくせ！～プチグルメ大島編・今治編～】

ルート：JR波止浜駅→大島・下田水港→吉海商店街→  
よしみバラ公園→大浜→今治市街→シクロの家

日にち：平成26年5月5日（日・祝）

距離：40 km

所要：8時間



ツーリングレポート【親子で行くアドベンチャーサイクリング】

ルート：JR波止浜駅→波止浜港→小島（おしま）→  
大角海浜公園→JR]波止浜駅

日にち：平成26年6月7日（土）

距離：17.5 km

所要：6.時間10分



## 7月の投稿記事

投稿者：Harrison

サイクリング歴：3年

撮影日：2014/2/16

場所：大三島

タイトル：Café with a View



投稿者：Harrison

サイクリング歴：3年

撮影日：2014/2/16

場所：今治陸地

タイトル：Bangladesh Bike



投稿者：Harrison

サイクリング歴：3年

撮影日：2014/2/16

場所：大島

タイトル：Culture Center



投稿者：Harrison

サイクリング歴：3年

撮影日：2014/2/16

場所：大島

タイトル：Hounan Temple Fun



### 8月の投稿レポート

ツーリングレポート【“出張ツアー” 松山プチグルメ・サイクリング 城北編】

ルート：松山城ロープウェイ乗り場駅舎前→  
松原（三津）→ブエナビスタ（梅津寺）→  
アール・グリーンサーズ（堀江）→  
おでカフェ（吉藤）→あげあげ（柳井町）→  
城山横丁（ロープウェイ街）→

松山城ロープウェイ乗り場駅舎前

日にち：平成26年7月27日（日）

距離：40 km

所要：5時間45分



### 8月の投稿記事

投稿者：Harrison

サイクリング歴：3年

撮影日：2014/2/16

場所：大島

タイトル：Harrison's Bench View



投稿者：Harrison

サイクリング歴：3年

撮影日：2014/2/16

場所：大島

タイトル：Heading to Mitsubachi



投稿者：Harrison  
サイクリング歴：3年  
撮影日：2014/3/15  
場所：大島  
タイトル：Family Temple



投稿者：Harrison  
サイクリング歴：3年  
撮影日：2014/3/15  
場所：大島  
タイトル：Harrison Jumps with Kids



投稿者：Harrison  
サイクリング歴：3年  
撮影日：2014/3/21  
場所：大島  
タイトル：Novel Bike Rack



投稿者：Harrison  
サイクリング歴：3年  
撮影日：2014/3/21  
場所：大島  
タイトル：Island Omiyage Shop



投稿者：Harrison  
サイクリング歴：3年  
撮影日：2014/3/21  
場所：大島  
タイトル：Paysan Pooch



投稿者：Harrison  
サイクリング歴：3年  
撮影日：2014/3/15  
場所：大島  
タイトル：Pirate Attack!



投稿者：Harrison  
サイクリング歴：3年  
撮影日：2014/3/15  
場所：大島  
タイトル：Pirate Museum



投稿者：Harrison  
サイクリング歴：3年  
撮影日：2014/3/15  
場所：大三島  
タイトル：Playing on the Beach



### 9月の投稿レポート

ツーリングレポート【ウミホテルにライトアップ！ナイトサイクリング！】

ルート：サイクルオアシス総合拠点

「シクロの家（今治駅前）」→今治港→

今治商店街→はまかぜ海道海岸線（近見湊町）→

シクロの家

日にち：平成26年7月5日（土）

距離：13 km

所要：2時間45分



### 9月の投稿記事

投稿者：Usman Kawazoe

サイクリング歴：2年

撮影日：2014/2/17

場所：尾道陸地

タイトル：My journey begins here.



投稿者 : Usman Kawazoe  
サイクリング歴 : 2年  
撮影日 : 2014/2/17  
場所 : 尾道陸地



タイトル : The World Record Holding Guide  
投稿者 : Usman Kawazoe  
サイクリング歴 : 2年  
撮影日 : 2014/2/17  
場所 : 尾道陸地  
タイトル : Rent-a-Cycle in Onomichi



投稿者 : Usman Kawazoe  
サイクリング歴 : 2年  
撮影日 : 2014/2/17  
場所 : 尾道陸地  
タイトル : Let the cycling begin!



投稿者 : Usman Kawazoe  
サイクリング歴 : 2年  
撮影日 : 2014/2/17  
場所 : 岩子島  
タイトル : A Friendly Fisherman



投稿者 : Usman Kawazoe  
サイクリング歴 : 2年  
撮影日 : 2014/2/17  
場所 : 岩子島  
タイトル : The Light at the End of the Tunnel



投稿者：Usman Kawazoe  
サイクリング歴：2年  
撮影日：2014/2/17  
場所：向島  
タイトル：Noah's Ark



投稿者：Usman Kawazoe  
サイクリング歴：2年  
撮影日：2014/2/17  
場所：因島  
タイトル：Cycling Tickets



### 10月の投稿記事

投稿者：Usman Kawazoe  
サイクリング歴：2年  
撮影日：2014/2/17  
場所：因島  
タイトル：Hasaku-Daifuku



投稿者：Usman Kawazoe  
サイクリング歴：2年  
撮影日：2014/2/17  
場所：因島  
タイトル：Lunchtime at Umay!



投稿者：Usman Kawazoe  
サイクリング歴：2年  
撮影日：2014/2/17  
場所：因島  
タイトル：The Master



投稿者 : Usman Kawazoe  
サイクリング歴 : 2年  
撮影日 : 2014/2/17  
場所 : 因島  
タイトル : Tangerines



投稿者 : Usman Kawazoe  
サイクリング歴 : 2年  
撮影日 : 2014/2/17  
場所 : 因島  
タイトル : Traditional Architecture Everywhere!



投稿者 : Usman Kawazoe  
サイクリング歴 : 2年  
撮影日 : 2014/2/17  
場所 : 因島  
タイトル : Cycling Through Habu-cho



投稿者 : Usman Kawazoe  
サイクリング歴 : 2年  
撮影日 : 2014/2/17  
場所 : 生口島  
タイトル : The Gelato Shop (Cycle Oasis)



投稿者 : Usman Kawazoe  
サイクリング歴 : 2年  
撮影日 : 2014/2/17  
場所 : 生口島  
タイトル : One Down, One More to Go



投稿者：Usman Kawazoe  
サイクリング歴：2年  
撮影日：2014/2/17  
場所：生口島  
タイトル：Utsunomiya-san



投稿者：Usman Kawazoe  
サイクリング歴：2年  
撮影日：2014/2/17  
場所：生口島  
タイトル：Traditonal Japanese Dinner!



投稿者：Usman Kawazoe  
サイクリング歴：2年  
撮影日：2014/2/18  
場所：生口島  
タイトル：Breakfast for Champions!



投稿者：Usman Kawazoe  
サイクリング歴：2年  
撮影日：2014/2/18  
場所：生口島  
タイトル：Yoshiko-san



### 11月の投稿レポート

ツアーレポート【みかんの香りに包まれて “畑deカフェ” ツアー】

ルート：波止浜駅→今治港→  
伯方島・木浦港→沖浦ビーチ ”畑deカフェ” →  
大島→今治市内

日にち：9月23日（火・祝）

距離：37km

所要：6時間30分



## 11月の投稿記事

投稿者：Usman Kawazoe

サイクリング歴：2年

撮影日：2014/2/18

場所：伯方島

タイトル：The Odd Cycle Stand



投稿者：Usman Kawazoe

サイクリング歴：2年

撮影日：2014/2/18

場所：生口島

タイトル：The Journey Home



投稿者：Usman Kawazoe

サイクリング歴：2年

撮影日：2014/2/17

場所：全部

タイトル：Panoramas of the Shimanami Kaido



投稿者：Usman Kawazoe

サイクリング歴：2年

撮影日：2014/2/18

場所：しまなみ

タイトル：Alas, The Blue Line



投稿者：Usman Kawazoe

サイクリング歴：2年

撮影日：2014/2/18

場所：向島

タイトル：Miscellaneous



投稿者：Usman Kawazoe

サイクリング歴：2年

撮影日：2014/2/18

場所：向島

タイトル：Miscellaneous part two



投稿者：Usman Kawazoe

サイクリング歴：2年

撮影日：2014/2/18

場所：因島

タイトル：Onomichi Ramen



投稿者：Usman Kawazoe

サイクリング歴：2年

撮影日：2014/2/17

場所：生口島・因島

タイトル：Don't Worry About Getting Lost!



投稿者：Usman Kawazoe

サイクリング歴：2年

撮影日：2014/2/18

場所：生口島

タイトル：Miscellaneous part three



### 12月の投稿レポート

ツアーレポートシーカヤック&サイクリング “ここで漕いで瀬戸内海”

ルート：波止浜駅→大島 “ペンションみなみうら” →  
シーカヤック体験→波止浜駅

日にち：11月3日（月・祝）

距離：32km

所要：7時間40分



ツアーレポート【モニターツアー はまかぜサイクリング】

ルート：今治駅前→今治港→美保漁港→  
大濱八幡神社→波止浜水門→波方港→  
大角海浜公園→なみかた海の交流センター→  
サイクルオアシス「昌万」→今治駅前

日にち：11月23日（日）

距離：30 km

所要：4時間



12月の投稿記事

投稿者：Usman Kawazoe

サイクリング歴：2年

撮影日：2014/2/18

場所：向島

タイトル：Overall, Great Trip



投稿者：Harrison

サイクリング歴：3年

撮影日：2014/3/15

場所：大島

タイトル：Rose Park Sign



投稿者：Harrison

サイクリング歴：3年

撮影日：2014/3/15

場所：大島

タイトル：Rose Park Zipline Fun



投稿者：Harrison

サイクリング歴：3年

撮影日：2014/3/15

場所：大島

タイトル：Rose Products



投稿者：Harrison

サイクリング歴：3年

撮影日：2014/3/21

場所：伯方島

タイトル：Shimanami Viewing Tower



投稿者：Harrison

サイクリング歴：3年

撮影日：2014/2/16

場所：今治陸地

タイトル：Sunrise Itoyama Lobby



投稿者：Harrison

サイクリング歴：3年

撮影日：2014/2/16

場所：大島

タイトル：First Day Rest Temple



投稿者：Brendan

サイクリング歴：10年

撮影日：2014/2/22

場所：尾道陸地

タイトル：Arriving by Shinkansen



投稿者：Brendan

サイクリング歴：10年

撮影日：2014/2/23

場所：大三島

タイトル：Shrine on Ohmishima

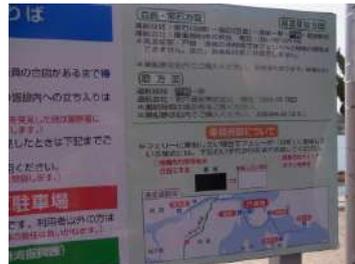


投稿者：Brendan  
サイクリング歴：10年  
撮影日：2014/2/22  
場所：岩子島  
タイトル：Shrine on Iwashijima



### 1月の投稿記事

投稿者：Brendan  
サイクリング歴：10年  
撮影日：2014/2/22  
場所：戸崎  
タイトル：Call Ferry



投稿者：Brendan  
サイクリング歴：10年  
撮影日：2014/2/23  
場所：伯方島  
タイトル：Michikajima Island



投稿者：Brendan  
サイクリング歴：10年  
撮影日：2014/2/22  
場所：向島  
タイトル：Orange Stand



投稿者：Brendan  
サイクリング歴：10年  
撮影日：2014/2/23  
場所：大三島  
タイトル：Orange Juice



投稿者：Brendan

サイクリング歴：10年

撮影日：2014/2/22

場所：生口島

タイトル：Gelato



投稿者：Brendan

サイクリング歴：10年

撮影日：2014/2/22

場所：生口島

タイトル：Kosan-ji Temple



投稿者：Brendan

サイクリング歴：10年

撮影日：2014/2/22

場所：生口島

タイトル：Takoten



投稿者：Brendan

サイクリング歴：10年

撮影日：2014/2/22

場所：尾道陸地

タイトル：Big boats



投稿者：Brendan

サイクリング歴：10年

撮影日：2014/2/22

場所：岩城島

タイトル：Lemons



投稿者：Brendan

サイクリング歴：10年

撮影日：2014/2/22

場所：岩城島

タイトル：Stay in Iwagi



投稿者：Brendan

サイクリング歴：10年

撮影日：2014/2/22

場所：因島

タイトル：Hassaku Daifuku



投稿者：Brendan

サイクリング歴：10年

撮影日：2014/2/23

場所：今治陸地

タイトル：Biggest Bridge

(Kurushima-kaikyo Bridges)



イ. 瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会の開催機運の醸成に結び付く等、話題性ある情報を投稿した。

・シェア 32本

- サイクルトレインしまなみ号、今年も運行
- サイクルボートしまなみ号
- しまなみ自転車旅の宿
- ボンシャンスサマーキャンプ
- 愛媛県知事がシマノ社長と会談
- 散歩散走 in 尾道 ～サイクリング&ウォーキングパラダイス おもいおもいの島めぐり～
- しまなみ海道自転車歩行者道モバイルスタンプラリー
- レモン配りのおばさん会
- 愛媛マルゴト自転車道
- ONOMICHI U2
- しまなみ海道 親と子の橋体験セミナー
- サイクリスト泊まって 今治駅前に施設開設へ
- 「瀬戸内しまのわ2014」ガイドブック夏の配布
- 「瀬戸内しまなみ海道」75kmにWi-Fi整備
- 6島にまたがるしまなみ海道の自転車旅行 米CNNも絶賛

- 第5回みなとオアシスsea級グルメ全国大会in尾道
- 瀬戸内水軍まつり
- 大三島“三島水軍鶴姫まつり”
- しまなみわくわくソフトラリー2014
- サマーフェスタinかみうら
- しまなみクエストin小島・津島
- ツール・ド・いくちじま2014
- しまなみ海道や道後温泉などに公衆無線LAN設置
- しまのわご当地フェスティバルin今治
- 第27回グルメ海の印象派ーおのみちー
- しおあかり～竹原～
- 海軍グルメフェスタin呉
- 第11回 三原 浮城まつり
- ミシュラン・グリーンガイド・SHIKOKU」
- しまなみ縦走2015
- 今治湯ノ浦温泉シクロクロス in 桜井
- ゴールデンウィークのレンタサイクル予約受付

## 総 評

- ・FB投稿を続けることで、順調に「いいね」を増やすことができた。
- ・10月開催の「国際サイクリング大会サイクリングしまなみ」への関心の高さを実感できた。
- ・ツアーレポートの形式は、ユーザーが求めている内容と合致していることが伺え、ページへの興味関心を高めると共に 実際のしまなみサイクリングのリピーター化につながった手応えを感じた。
- ・投稿があるとリーチが担保されるなど、コンスタントな投稿が効果的であることが実証できた。
- ・サイクリングに関する最新情報投稿の際にはリーチが増えるなどの効果を感じた。
- ・サイクリング関連の外部リンクの重要性を感じた。

## 今後のビジョン

- ・ファン数、投稿数を増やすために、引き続き、口コミの拡散に取り組む。
  - ※サイクリングレベル（初心者・中級・上級者）に応じた情報
  - ※特に女性、若者やシニア層に向けたしまなみサイクリングの楽しさが伝わる情報
- 上記、情報を収集し、配信したい。

### 3. しまなみサイクリング誘客ツアーモデル造成事業（愛媛県東予地方局委託事業）

自転車の聖地「しまなみ海道」を訪れるサイクリストがビギナーから本格派まで重層化する中、リピーター獲得や潜在的サイクリングユーザーの掘り起こしを目指し、アクティブシニアにターゲットを絞ったプログラム構築を進めた。地域のオリジナリティをいかし、リラクゼーション、体験、食、宿といったガイド厳選メニューを提示する商品を造成し、販売への足がかりを構築した。

#### (1) アクティブシニアのニーズ調査

地域のオリジナリティをいかしたテーマ性あるツアー、アクティブシニアが安心参加できるツアーを構築するため、以下の調査を実施した。

1. 対象者 愛媛県内の50歳代以上 197名
2. 方法 アンケート用紙の送付。郵送・FAX・メールにて回収。
3. 期間 平成27年2月1日～2月25日
4. 調査内容 サイクリングによるアウトドアフィットネス（ヘルス・ツーリズム）の可能性検証

基礎設問	・性別 年齢 職業 ・日頃の運動への取り組み ・サイクリング関与
しまなみ観光	・来訪目的と意欲 ・宿泊イメージ
アウトドアフィットネスの可能性	・サービス検証 ・サイクリングとの整合性

#### (2) サービス検証とブラッシュアップアクティブシニアのニーズ調査

サイクリングにアウトドアフィットネスを加えた商品を造成するにあたり、訴求力あるプログラムの講師として活躍できる地元の専門家を発掘した。地域外からの専門家招聘ではなく、地域住民が担い手として育成されることで持続的なプログラム提供が期待でき、かつ、地域が主体となった観光振興が推進できると考える。

1. コンセプト設計 以下のコンセプトと地域の担い手と共有

##### しまなみ全体をフィットネスクラブへ

海の蒼・山の緑に囲まれたしまなみの自然環境、車の通行量が少ない島の道を活用！  
交流意欲の高い住民とのふれあいが息づきエリアで、交流ポタリングを通して、気づいたら健康に！  
しまなみの太陽の恵みを受けた地産の食材を食し、体の中からもキレイになります。

##### ●自転車を暮らしに

仲間との出会い、住民との交流は心のエネルギーに！  
美しい自然の中での成功体験で、自宅でも「続ける」健康的なライフスタイルを創造

##### ●自転車で地域活性

多島美、島の生活が息づく路地裏、農業や地元料理づくり体験、島のお遍路などの文化。  
地域を愛する活動は連鎖を起こし、地域を守ろうという意識へ。

2. 地域ヒアリング 「ワークアクト」「食」「宿」の調査を実施

持続可能なサービス提供を見据え、地域住民の中から技術・経験を持った人材を発掘し、望ましいサービス推進体制のあり方を検討した。地域限定旅行業を持つ当会が、サービスプログラムのブラッシュアップを担当し、地域と旅行者をつなぐコーディネート機能を担保。地域内の資源を束ねた商品造成に取り組んだ。

※提案書は別紙あり

## タイムスケジュール

### 1日目:7月19日(日)

#### 12:00～13:00●座学「サイクリングをはじめるために必要なこと」

これからサイクリングをはじめるためのポイントをアドバイス。乗車前の自転車セルフメンテナンス、フィッティングなどの助言を行います。どんな自転車選びをしたらいいかもご相談が可能です。

【講師】宇都宮一成 シクロツーリズムしまなみポタリングガイド

タンデム自転車世界1周の経験をかき、サイクリングガイドに、10年の旅で知った自転車の楽しさを伝えます。



宇都宮 一成

#### 13:00～18:00●実技「はじめてのしまなみサイクリング」

伯方島までのサイクリングを楽しみましょう。快適なフォーム、健康づくりを目的にしたサイクリングについて実践指導します。適切な心拍数を維持する走り方をアドバイスします。

【講師】吉武喜美雄 理学療法士

自転車は生涯スポーツ。身体づくりにつながるサイクリングについて病院勤務の現場からアドバイス。痛みが出ないフォームづくりを支援します。



吉武喜美雄

#### 18:00～●食事・交流「愛の地産地消レストラン」公認スポーツ栄養士監修メニュー

島のお母さん・西部さんの作る自家製野菜&島の魚介類を使った郷土料理！「夏バテ解消」をテーマにしたオリジナル料理を囲みます。

#### 20:00～●本日のお宿【いずれかをチョイス】

宿①農家民宿 ファーム in ポーチュラカ西部

柑橘と花の生産農家に泊まります。

宿②キャンプ 鶏小島キャンプ場

安心なテントサイトがあるお手軽キャンプです。

### 2日目:7月20日(月・祝)

#### 7:00～8:00●実践モーニングプログラム【いずれかをチョイス】

##### プログラム①砂浜ヨガ

呼吸法ヨガは身体の隅々への意識を高めるプログラム。正しいサイクリングのウォームアップにも役立ちます。

【講師】村上久恵 ヨガインストラクター

日本ヨガ療法学会認定ヨーガ教師。

島ヨガを体験するイベントを通して気づいたアウトドアヨガの魅力を伝えます。波や風の音などしまなみの大自然に中でのヨガは好評です。



##### プログラム②ノルディックウォーキング

上半身をしっかりと動かすウォーキングプログラム。サイクリングとの組み合わせは相性抜群です。

【講師】渡邊一志

ノルディックウォーキングインストラクター

駅伝・マラソンの市民ランナーとしての躍進の中、足腰のリハビリに有効なノルディックに出会っています。サイクリングにも効くポイントを伝えます。



#### 8:30～9:30●朝食 農家民宿での朝ご飯 公認スポーツ栄養士監修メニュー

#### 10:00～●実践サイクリング ※初日とは違うルートでサイクリングです。

#### 13:00～●食事・交流「移動キッチン・よしかわ」公認スポーツ栄養士監修メニュー

しまなみの絶景で楽しめるアウトドアランチを！そんな思いでキッチンごと移動。この日のオープンは大島のプライベートビーチです。



吉川

#### 16:00●クールダウンプログラム・解散

### 公認スポーツ栄養士によるアドバイス

兵頭よし子 管理栄養士・公認スポーツ栄養士・調理師

【プロフィール】愛媛県立宇和島東高等学校卒業後、大和学園京都栄養士専門学校、大和学園京都調理師専門学校卒業。その後、京都市：京都保育センターたかつかさ保育園に勤務のあと宇和島に戻り、宇和島市役所生活環境課にて嘱託栄養士として勤務。出産を機に退職。2003年より(有)ヘルシープラネット<現在(株)ヘルシープラネット>にて勤務し、2011年3月退職。その後、フリーランスで活動中。

#### 4. 自転車回廊の高速道路がつなぐ島巡り散走～瀬戸内まるごとサイクルツーリズム構想～ (第七回「観光資源活用トータルプラン」)

「しまなみ海道」「とびしま海道」「さざなみ海道」を連続した広域サイクリングロードと捉え、その空間的魅力の発信、エリア内の観光資源のサイクリング視点での再構築によるツアーや体験等のアクティビティ提供、飲食、バックアップ、宿泊等の受入基盤整備を進めた。

※2015年度までの継続事業（3年間で瀬戸内まるごとサイクルツーリズム構想を実現する）

##### (1) 情報発信媒体の作成 -とびしま海道-

2015年度から「しまなみ海道」の裏海道として人気が高まりつつある「とびしま海道」のマップ作成に着手。2016年度は印刷・製本し、旅行者や関係機関への配布、同時にホームページでの媒体利用の促進に向けた広報活動などを行った。

##### ① 印刷・製本



##### ② ホームページ用データ作成



#### ●アマゾンでの販売



#### ●自社通販サイトで販売



(2) 情報発信媒体の作成 -さざなみ海道-

「しまなみ海道」と連続した広域サークルングロードの発信による、滞在性・回遊性促進を目指し、「さざなみ海道」の制作に着手した。調査・撮影・取材

i. 専門家との懇談

調査に先立ち、地図製作の専門家と懇談。盛り込みたい情報を棚卸しし、その情報を集約する作業を繰り返した。先行して完成している「しまなみ海道」マップのベースに、情報を「点・線・その他」に区分し、「とびしま海道」マップに必要な情報及びレイアウトを検討した。

(掲載したい情報とその優先順位)

優先	掲載したい情報	掲載の仕方	区分	意見交換
A	現在地の確認		点	■現地調査 ・ランドマークを見つける
A	道路案内	詳細道路記載(2条線記載) 島の周回を紹介 農道・林道・登山ルート紹介	線	■メインルートはブルーラインに設定 ・サブコースの構築 ・地域の特色を活かしたルートの開拓
A	行きたいところ	最高所への道のりをマーク 景観のお勧めポイント	点	■コース設定 ・隠れスポットの情報掲載
A	トイレ (店舗併設も含)	公衆トイレの網羅	点	■現地調査
A	サイクリストに優しいポイント①		点	■聞き取り調査 ・サイクリストに優しい店(給水・トイレ) ・住民交流促進の給水ポイントを差別化。
A	所要時間	プロフィールマップの作成		・標準時間を算出のための距離・勾配明記 ・道の選択の際、利便性
A	人の情報 (地域の有名人)	解説は裏面	他	■取材調査 ・人物エッセイを掲載
A	展望スポット (写真撮影エリア)	解説は表面	点	■打合せ必要 ・景観ポイント、隠れスポット、視点の多様性
A	地域の行事	一覧表	他	・期間限定情報として欲しいが見送り。
A	峠・展望台	マニアックなおすすめルート	他	■地形判読 ・勾配表示 ・周回ルート上で「峠」を選定 ・展望台のある「山頂」は掲載必須 ・展望台から望める景観の表現
A	注意箇所	大型車交通量・路面状態	点	■聞き取り必要・現地調査
A	港	場所明示・航路記載 時刻、行き先は裏面記載	他	・既存情報あり
B	高低(断面図)	推奨ルート プロフィールマップの作成	他	・地形の読み取りが必要。 ・国土地理院からも取得可(著作権確認)
B	サイクリストに優しいポイント②	連絡先のみ掲載	点	■詳細調査 ・サイクリストの頼れる場所(修理、応急処置)
C	潮汐表	裏面	他	・潮汐表の解説が必要。必須でなく見送り
C	通行量		他	・交通センサス(国土交通省) ・曜日、季節により変化あり
C	路面の状態	舗装道か未舗装道か	線	■現地確認 ・一般道か農道か農免道路か ・理想を言えば、路側帯の幅 ・歩道の有無
C	気象情報(風向の傾向)		他	■経験者からの聞き取り・現地確認
C	連絡船の時刻表と料金	裏面記載	他	■既存情報あり

## ii. 地元座談会

住民ならではの情報、地元サイクリストのニーズを収集することを目的に、呉ポタリンクラブと実走調査、情報取材、意見交換等について協議した。

日時：平成26年10月18日（土）14:00～16:00

場所：さざなみ海道エリア

### ●実走調査中



### ●おすすめルート調査



### ●地元資源について協議



情報量と完成紙面の大きさ等を総合的に勘案し、縮尺サイズと照らし合わせ、裁断面を検討。行政エリア等に考慮しながら、編集・デザインのイメージをつくった。その後、既存の情報誌との差別化を意識し、情報区分を精査。ルートを全て自転車で調査し、緻密な距離と高低差等の数値を記録した。

#### （地図の大きさの検討）

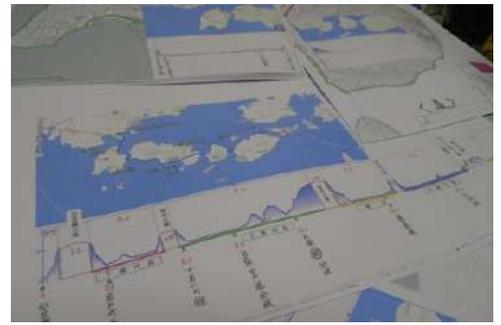
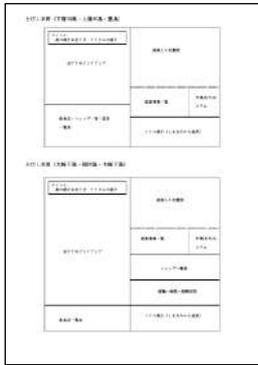
- ・ 1日に約80kmを走行するサイクリストにも対応縮尺→3万分の1 or 2万5千分の1
- ・ 集落の路地も説明できる縮尺→1万分の1 or 5千分の1
- ・ 持ち歩くことを考えるとコンパクトな大きさ（かさばらない枚数）
- ・ 3つの島を別々に載せるメリットと3つの島が1枚で確認できるメリット



全体図	1/10万 ~ 1/20万
メイン図	1/2万5千
一部縮小図	1/10万
*縮尺は各編・各島統一（島の大きさに応じて、用紙の大きさ（A2&A2+α）は変更）	
*別枠図の作成・・・陸地部呉市内までの案内地図を別枠で記載	
*詳細な道路・・・国土地理院地形図・都市計画図を活用	

## ① 編集・デザイン・データ作成

掲載情報の収集にあたっては、自転車に優しい場所や食事ポイント等の拠点情報を開拓する等、地元ガイドにしか網羅できない情報を整理した。情報を掲載記事化するにあたり、デザイン、レイアウト、図表・イラスト等をまじえ、わかりやすく表現する作業を進めた。※一部、専門家への外部委託



## ② 地図作成

ルート、ランドマーク等をイラスト作成により編纂、配置する等の作業を進めた。

※国土地理院発行の1/25,000空間データ基盤を活用するにあたり、一部、専門家へ外部委託。

日帰りの気軽なサイクリングから、宿泊を伴うシクロツーリズム促進を目指す媒体製作となった。



## (2) ツアー等のアクティビティ充実

愛媛県今治市内の港を活用し、サイクリングと船を組合せたツアーを造成、ツアー実施した。

### ツアーレポート①

#### とびしま島走Map 完成記念特別ツアー

「とびしま島走Map」を片手に！チャレンジとびしま一周ツアー」

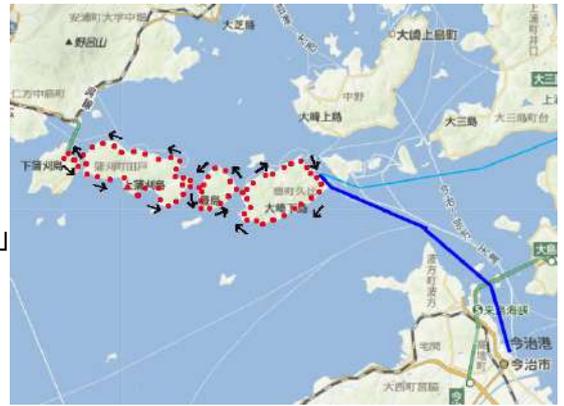
日 時：平成26年5月4日（日）

ルート：今治港→大崎下島→豊島→上蒲刈島→下蒲刈島  
→上蒲刈島→豊島→大崎下島→今治港

距離：63km

所要：9時間20分

安芸灘とびしま海道のサイクリスト向け地図「とびしま島走Map」が完成したのを記念して、とびしま海道一周ツアーを企画。今治港から、この日チャーターで運航するサイクルボートしまなみ号を利用して大崎下島御手洗港へ。そこからとびしまの島々を一周した。とびしま海道は初めてという参加者が多く、しまなみ海道とはまたひと味違う島の景色や情緒を味わってもらうことができた。また、現地のおすすめスポットを「とびしま島走Map」と照らし合わせながら訪問したり、地図製作の裏話を披露したりと地図を活用したツアーとなった。



#### ■7:40 今治港集合/スタート

今治港からサイクルボートに乗船。自転車をそのまま乗せられる「サイクルボート」は今年度は5月4日、9月14日、11月23日の3回運航する。約40分で大崎下島御手洗港に到着、ここで下船し、サイクリングスタート。大崎下島の南側ルートを通り、西隣の豊島に向かった。



#### ■10:00 豊島/むろきはら橋

大崎下島から豊浜大橋を渡って豊島へ。この島にある「むろきはら橋」を見学。これは、狭い土地で高度を稼ぐことのできるループ状の道で、住宅街に唐突に現れるため、初めて見るととても驚く。こうしたサプライズの発見は自転車ならではの醍醐味。「とびしま島走Map」で場所を確認。



#### ■10:40 上蒲刈島/日高庄八幡神社

豊島大橋を渡り、上蒲刈島へ。突然堤防の外に鳥居が出現した。これは日高庄八幡神社の鳥居で、道路拡張に伴い、堤防の外に建つことになったらしい。先ほど見た、むろきはら橋と同様、少々驚く光景である。ここで停まり、この光景を楽しんでもらった。



#### ■11:15 上蒲刈島/蒲刈市民センター

海沿いに建つ蒲刈市民センターの庭で、海を眺めながら昼食タイム。この日は二輪弁を用意した。伯方島の農家民宿を営むおかあさんが作るこの弁当は、ひじきやタコなど伯方島の獲れる食材を使った3種類のおにぎりがメイン。竹皮に包まれ、素朴ながらもボリューム感たっぷり。



#### ■12:45 下蒲刈島/大津泊公園

蒲刈大橋を渡って下蒲刈島へ。この島の大津泊庭園を折り返しとした。この庭園は、かつては塩浜新開と呼ばれ、水田・塩田・綿作地・養魚池だったところである。かつての面影を彷彿とさせながらも、池や東屋が配置された自然豊かな公園になっていた。しばらくここで休憩。



#### ■13:00 上蒲刈島/蒲刈大橋下

上蒲刈島の蒲刈大橋下で、橋を見上げながら「とびしま島走Map」の地図製作に携わった柴田氏が、「とびしま島走Map」の特徴、工夫した点、地図の見方などについてレクチャーした。「見やすい」「坂道の勾配の具合がよくわかる」と感心していた。

#### ■13:30 上蒲刈島/うどんの原

上蒲刈島の復路は南ルートを選択した。アップダウンの少ない海沿いのルートで快適に走行できた。途中にある「うどんの原」で、「とびしま島走Map」の贈呈を行った。「うどんの原」は「とびしま島走Map」でも掲載しており、近年サイクリストも大勢訪れる人気の店。



#### ■14:45 上蒲刈島/明地商店&ひばり座

上蒲刈島の久比地区にあるお好み焼き屋・明地商店で、お好み焼きのおやつタイムをとった。この店は、別名・ひばり座。店主による美空ひばりの絵で、店内外が埋めつくされておりとびしま海道の名所にもなっている。お好み焼きでお腹を満たした後、店主の説明を聞きながら絵を鑑賞。

#### ■16:30 サイクルボート乗船・解散

御手洗港からサイクルボートしまなみ号に乗り、今治港へと戻り、解散した。ロングライドではあったが、橋の上り下り以外アップダウンも少なく、走りやすいコースだった。ところどころで地図を確認しながら走ることで、初めての参加者も土地勘をつけることができたようだ。

## ツアーレポート②

自転車ツーキニスト・疋田智さん×6人のシクロ・ツーリスト

「しまなみ最新スポット・フォトツアー」

日 時：平成26年9月14日（日）

ルート：今治港→大三島→伯方島→大島  
→今治市臨海部→今治駅

距離：68km

所要：9時間40分



交流・回遊促進の起爆剤になればと期待を込めて設置している「サイクルスタンド・デザインコンテスト」最優秀作品「6人のシクロ・ツーリスト」。しまなみの絶景の前に佇む人型のオブジェは、何と自転車の駐輪スタンドだ。6体設置予定の内、4体が完成し、そのお披露目ツアーを催行。コンテスト審査委員を務めていただいた自転車ツーキニスト疋田智さんをゲストに、愛車を停めてまったり。絶景を前ににっこり。急増するサイクリストの思い出の1シーンをプレゼントできる手応えを感じるツアーとなった。



### ■8:00 今治港集合/スタート

自転車をそのまま乗せられる「サイクルポート」、今年度2回目の運行。ツアーメンバー14名が乗船し、秋晴れの青空の下、一路大三島へと向かう。



### ■9:20 大三島/瀬戸港

1時間余りの船旅を終え、大三島着岸。島の南海岸線を走行して、宗方方面へ。日差しも柔らかく、爽やかな風が心地よい。ビギナー女性からも、ゆったりと流れる島の時間に賞賛の声が。



### ■10:20 伊東豊雄建築ミュージアム/6人のシクロ・ツーリストMR.大三島

1体目のオブジェと初対面。疋田智さんにも筆舌尽くしがたい感激と感動を与えた。参加者一同、この時の共感を生涯忘れ得ない記憶として留めることとなる。



### ■11:50 鼻栗の瀬戸 展望所/ランチタイム

大三島の景勝地に現れた「移動式レストラン」。地元住民の協力のもと、シクロツアー限定の特別なおもてなしだ。地元産の野菜、お米、卵等をふんだんに盛り込んだメニューは大変好評。



### ■13:00 伯方島/道の駅 伯方SCパーク /6人のシクロ・ツーリストMR.伯方島

2体目のオブジェと出会う。それぞれ形の違うオブジェだけに「毎回停め方を考えるのが、知恵の輪みたいで面白い」との声が。デザイナーの創意工夫がよく活きているようだ。



### ■13:20 大島/宮窪の潮流ライン

しまなみサイクリングの楽しさのひとつが、めまぐるしく変わる風景にある。道を曲がると突然現れる巨大建造物。造船とともに歩んできた島の歴史を垣間見られる瞬間だ。



### ■13:50 大島/早川港 緑地公園/MR. 大島

3体目のオブジェへ。つい先日設置されたばかり。取扱いシールの貼付は疋田智さんの手で。これで「MR.大島」の入魂が完了。名実ともに6人のメンバーに加わった。



### ■15:00 大島/吉海の漁港ライン

大島を走り抜け、来島海峡大橋の袂へ。この時点で52km程を走行。最年少・小学6年生の参加者もいたが、余裕綽々の走りを見せてくれていた。

### ■17:00 今治市陸地部/なみかた海の交流センター/MISS.なみかた

4体目のオブジェと対面。ここでは自転車旅行者受入整備が進む「はまかぜ海道」と「はまかぜサイクルオアシス」について、地元住民からの案内説明に耳を傾けた。

### ■17:00 今治駅/サイクルオアシス総合拠点「シクロの家」

はまかぜ海道を走行し今治駅前へ。サイクルオアシス総合拠点「シクロの家」を見学。駅前の5体目の設置予定場所も確認。ツアーを通じて、疋田智さんからは、「風景と一体感のあるオブジェ型スタンドは、大変斬新で有効的な回遊ツールになるだろう」との評価を頂けた。

### ツアーレポート③

「第5回タンデム自転車まつり<2015>」

～満喫はまかぜ海道としまなみ5離島めぐり～

日時：日時：平成27年3月21日(土)・22日(日)

ルート：第1日目 JR松山駅→三津浜→伊予鉄高浜駅→

松山港海岸ふれあいの海辺→道の駅風早の里ふわり→

(今治市菊間町) 峠店につしー→越智新瓦工業→

星ノ浦海浜公園→JR今治駅

第2日目 今治港→細島→佐木島→生口島・高根島→

大久野島→大下島→今治

距離：第1日目50km・第2日目37km 合計87km

所要：第1日目5時間30分・第2日目8時間30分 合計14時間

概要：タンデム自転車まつりは、今年で5回目を迎えた。毎年、このツアーを楽しみに参加してくれる人もいて、回を重ねるごとに盛況になっていく。今年、松山・今治はまかぜ海道のサイクリスト向け地図“はまかぜ島走 Map”が完成したのを記念して、第1日目は松山から今治までのルートを守ることにした。また、2日目はチャーター船を運航し、しまなみ海道沿線に点在する離島のうち5つの島に上陸するプランを作成した。これらの島々は、単独ではなかなか足を延ばすことのない地であり、団体ツアーならではの企画になった。



#### ◎第1日目

##### ■12:00 JR松山駅西 松山全労済会館集合/スタート

東京や埼玉、静岡、愛知、兵庫など、遠方からの参加者を迎えスタート。受付時間よりも早くから集まり始め、マイ自転車の組み立てやレンタルバイクの調整などを行ったのちオリエンテーリング。その後スタート。タンデム自転車17台、シングル自転車8台でのツーリングは圧巻であった。



##### ■12:45 三津浜・伊予鉄高浜駅

三津浜は古い港町で、明治時代は松山の玄関口として栄えた。今も当時を偲ぶ建物などが残っている。また、伊予鉄高浜駅にも昭和初期に建てられた、古い駅舎が残っている。こうした地区を走り、県都松山の歴史の一端に触れてもらった。



##### ■13:20 松山港海岸ふれあいの海辺

松山観光港から、海面上に浮かぶ謎の巨石群で知られる白石の鼻を通り、松山港海岸ふれあいの海辺へ。ここで小休憩をとった。この浜辺は高潮対策とあわせ、景観や環境、利用面に配慮してつくられた海岸で、とても気持ちがよかった。



##### ■14:50 道の駅風早の里ふわり

松山市内は交通量も多く、自転車での走行には注意が必要となる。なるべく国道を避け、クルマの少ない道を選択した。松山～今治間は国道196号を利用することになるが、一本横道に入れば安全に景色を楽しめるルートがあることを発見してもらえた。



##### ■15:45 峠店につしー

サイクルオアシスでもある、今治市菊間町の峠店につしーで小休憩。道の駅風早の里ふわりからここまでは、海沿いの道である。斎灘の景色やルート名称にもなっている“はまかぜ”を楽しみながら走行できた。



##### ■16:00 越智新瓦産業株式会社

今治市菊間町佐方にある越智新瓦産業株式会社に立ち寄り、地場産業である菊間瓦の工場を見学させてもらった。瓦の生産現場を見るのは初めてという人がほとんどで、参加者は興味津々で見学していた。また、地元産のいりこを使った郷土料理“いりこめし”でおにぎりを参加者にふるまってもらった。銀色の菊間瓦に葉蘭を敷き、その上におにぎりを乗せるというように見た目もおいしく演出されていて、その味のよさと社長夫妻のホスピタリティに参加者は全員感激していた。

### ■ 17:30 JR今治駅・ゲストハウスシクロの家／ゴール

星ノ浦海浜公園で休憩をとり、その後ゴールであるゲストハウスシクロの家へ向かった。無事に初日を走り終え、全員で記念撮影した。50kmのロングライドであったが、ご年配の方も完走できた。2日目のオリエンテーションを行い解散した。



## ◎第2日目

### ■ 8:00 今治港集合／スタート

今治港からチャーター船に乗船し、細島へ向かった。

細島はしまなみ海道の向島や因島、佐木島などに囲まれた海域に浮かぶ有人島で、尾道市に属している。参加者のほぼ全員が知らない島で、未知の島への期待感で大いに盛り上がった。



### ■ 9:15 細島

細島は北東から南西に細長く、標高40～60mの丘陵が連なっている。丘陵を縫うようにつけられた道 را走り、島一周をした。アップダウンはあるもののそれほどきつくはなく、タンデム自転車や初心者でも楽しめた。坂の上からの景色もすばらしく、想像以上におもしろいサイクリングができた。



### ■ 10:15 佐木島

佐木島(広島県三原市)はトライアスロンの大会が行われることで有名な島である。道路も広く、トライアスロン用にマークが塗られていた。1カ所大きな坂があるがそれ以外はほとんど平坦で、さほど苦もなく一周できた。別荘やマリンレジャー施設も多く、他の島にはない景色も楽しめた。



### ■ 11:40 生口島・高根島

生口島沢港から高根島を目指した。生口島と高根島は高根大橋で結ばれている。今回のツアーでは唯一の橋。小さな橋だが桁下高さが23m以上も。高根大橋は黄色く塗られているのだが、高根島は柑橘の栽培が盛んで、さらなる振興を願ってこの色になったのだそうだ。



### ■ 12:45 大久野島

大久野島は、近年、うさぎが多数生息していることで評判を呼び、国内外から多くの人を訪れる。この日も観光客が大勢いた。この島のキャンプ場を利用して、移動キッチンよしかわによるランチを楽しんでもらった。移動キッチンよしかわの吉川さんは、地域おこし協力隊員として大島(今治市)にやってきた人で、現在は大三島で野菜づくりをしながら移動キッチンでの料理を提供している。この日は大三島でとれた野菜などを使ったハヤシライスとスープ、地元産の柑橘を手搾りしたジュースを参加者に味わってもらった。ごはんはオレンジジュースで炊いたオレンジライスで、しまなみづくしの味はおいしいと好評だった。



### ■ 15:00 大下島

島民の方が港に出迎えてくれ、あいさつをしていただいた。島のプロフィールなどを伺うことができ、島への親近感がぐっと沸いた。その後、島一周へ。アップダウンもなく海沿いのルートを快適に走行。帰り際、港で島民の方からみかんの差し入れが。心遣いにうれしい驚きが広がった。



### ■ 16:30 今治港／ゴール・解散

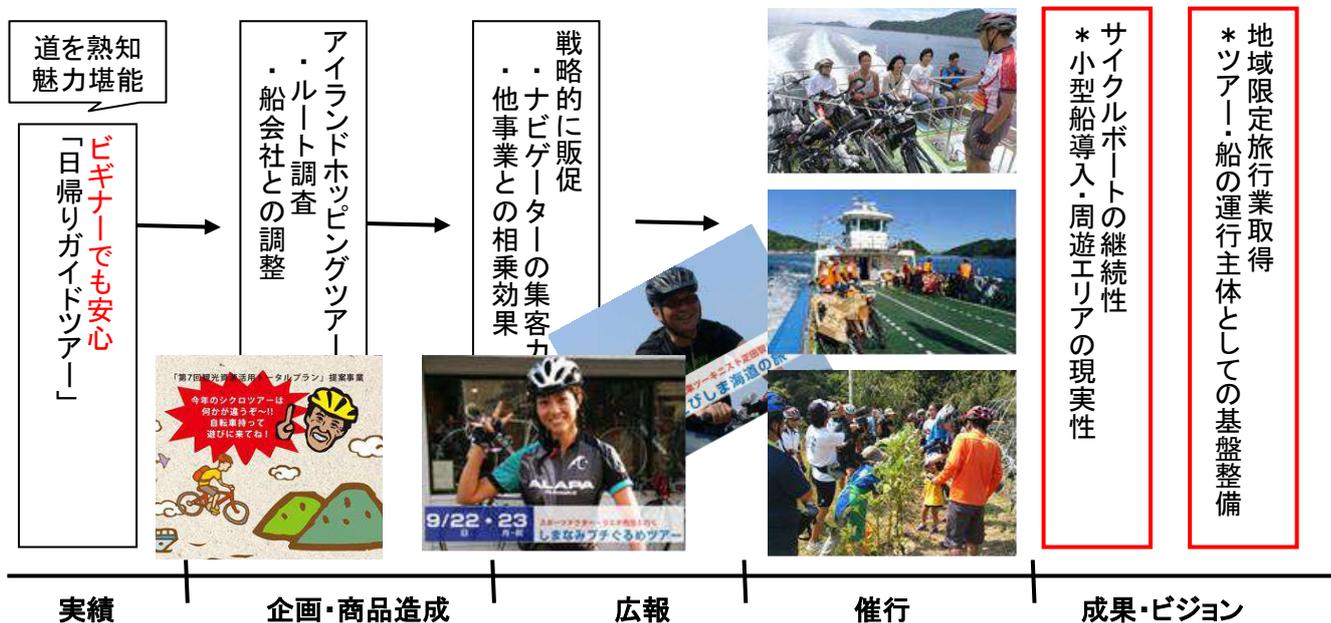
無事にツアーを終え、今治港マリン広場にて解散式。参加者からは、またぜひ来年も参加したいという声が多く聞かれ、満足感の高いツアーだったようだ。「息子に自転車の楽しさを知ってもらいたかった」「親子で思い切り走れてよかった」と、タンデム自転車で走った親子ペアはうれしそうに感想を述べた。また、「地元民でも行ったことのない島へ訪問できた」「ひとりだったら行けないところへ行けた」など、ツアーに離島を組み込んだことも喜んでもらった一因であった。松山から今治へのルート、面としてのしまなみ海道と、新たな魅力を味わってもらえたツアーであった。



## サイクルポートしまなみ号運行

瀬戸内まるごとサイクルツーリズム実現に、海の移動を楽しむしくみは不可欠である。エリア内を自転車で楽しむスタイルに、船での移動を誰もが盛り込むことができるよう、新しいしくみとして「サイクルポートしまなみ号」を企画。地元の船会社と共同運行した。

### ① 運行の企画工程



### ② 2014 年度の運行

2014 年度から運行するサイクルポートしまなみ号。今年度は、「とびしま海道」へアクセスできるよう寄港を厳選し、より船でしかいけない付加価値を担保した運行を行った。

#### ■コンセプトの提案

**こんな1日を 過して みませんか？**

**家族で念願のしまなみサイクリング！**  
 one day schedule  
 今治港 下田水港 大島ボタリング 来島海峡大橋 サンライズ系山  
 一人で何度も楽しんだしまなみサイクリング。今度は小学生になる子どもと走りたい！まずは大島まで船で渡り、大島プチサイクリング「フィナーレは一押し」の「来島海峡大橋」を渡ろう！！

**大自然からの恵みをいただく女子旅はコレ！**  
 one day schedule  
 サンライズ系山 大三島ボタリング 井口港 今治港  
 女子力アップで目指すは神様に出会える大山紙神社。樹齢3000年のクスノキ&ヘルメットお守りからパワーをもらって・・・温泉もある大三島！帰路が船なら、ゆっくりとお湯につかれて大満足！

**はじめてのしまなみフルライド！**  
 one day schedule  
 サンライズ系山 尾道ボタリング 大三島ボタリング 井口港 今治港  
 島々で寄り道しながらのサイクリングを計画！1日で往復は厳しかった・・・でも、帰りが船なら、尾道ぶらりもできて、尾道ラーメンを食べながら、もしがしてビールもOK?!仲間と一緒に出かけたい。（自転車も飲酒運転はダメですよ）

■運行日 平成26年5月4日(日)・9月14日(日)・11月23日(日)

■時刻

<往路>

今治港	御手洗港 (大崎下島)	瀬戸港 (大三島)	洲江港 (生口島)	十四日元町港 尾道
8:30 頃発	9:05 頃着 9:08 頃発	9:40 頃着 9:43 頃発	9:55 頃着 9:58 頃発	10:25 頃着

<復路>

十四日元町港 尾道	洲江港 (生口島)	瀬戸港 (大三島)	御手洗港 (大崎下島)	今治港
15:15 頃発	15:42 頃着 15:45 頃発	15:57 頃着 16:00 頃発	16:32 着/16:35 発	17:10 着

港での様子



船上での様子



③ 小型船を利用した継続ビジョン

社会実験として運行する「サイクルボートしまなみ号」。3年間で瀬戸内まるごとサイクルツーリズム構想を実現する本事業のビジョン実現を左右するものであるが、年間3回という運行回数の頻度をあげることで、さらには乗船料による自立運営（補助金に依存しない）の実現が立ちはだかる。そんな中、交通事業者、観光関連事業者、行政などとの懇談を進めた。

小型船の改造による継続運行を検証



### (3) 休憩・交流機能の充実

自転車休憩拠点「しまなみサイクルオアシス」、ダイナミックな周遊ルートの設定等は、自転車旅行者の受入の基盤として定評となった。2013年には愛媛県が県内市町と共同歩調をとりながら進める「愛媛マルゴト自転車道」構想が本格化。「しまなみ海道」からはじまった「ブルーライン」（サイクリストをわかりやすく誘導するため、車道左側に引いた青色の案内ライン）が「とびしま海道」にも伸長された。

今期は、昨年度開催した「シクロサロン」の気づきを踏まえ、「しまなみ海道」と連続するルート「はまかぜ海道」沿線上に、地元住民組織とのコンソーシアムで運営する「自転車休憩拠点“はまかぜサイクルオアシス”総合拠点もオープン。回遊促進と今治市内での宿泊を誘うことを目指し、JR今治駅前を整備した「シクロの家」との相乗的な機能提供を売りに、回遊促進の基盤をボトムアップに取り組んだ。

#### 2014年度事業

「自転車休憩拠点“はまかぜサイクルオアシス”総合拠点「なみかた海の交流センター」

1963年、波方港と広島県竹原港を結ぶフェリーが運航を開始。自動車利用台数が22万台（ピーク時）に達する大人気路線は町の誇りとなった。1999年の「しまなみ海道」開通後は、利用が激変し、2009年終航を迎える。かつての賑わいを取り戻したいとの地元の思いは熱く、地域活性化協議会での意見交換、臨時船を活用した社会実験等を重ねてきた。海と共に栄えた海事の歴史を継承する資料館としての活用を決め、住民有志で資料を収集した。折しも、人流・物流を大きく変えた「しまなみ海道」は空前の自転車ブーム。波方港から目前に広がる「来島海峡大橋」を眺めながら、自転車旅行者の立ち寄りポイントとしての可能性に期待感が高まる。取り組んだのは今治市臨海部のルートを「はまかぜ海道」として発信し、回遊を促すこと。島しょ部に展開する自転車休憩所「サイクルオアシス」の拡充整備も進めた。

2014年7月、伝統ある「中四国フェリー港湾事務所」をリノベーション。海事の歴史を伝え、「はまかぜ海道」ルートのサイクリスト休憩拠点「サイクルオアシス」としてスタートする運びとなった。

#### i. 整備にあたって

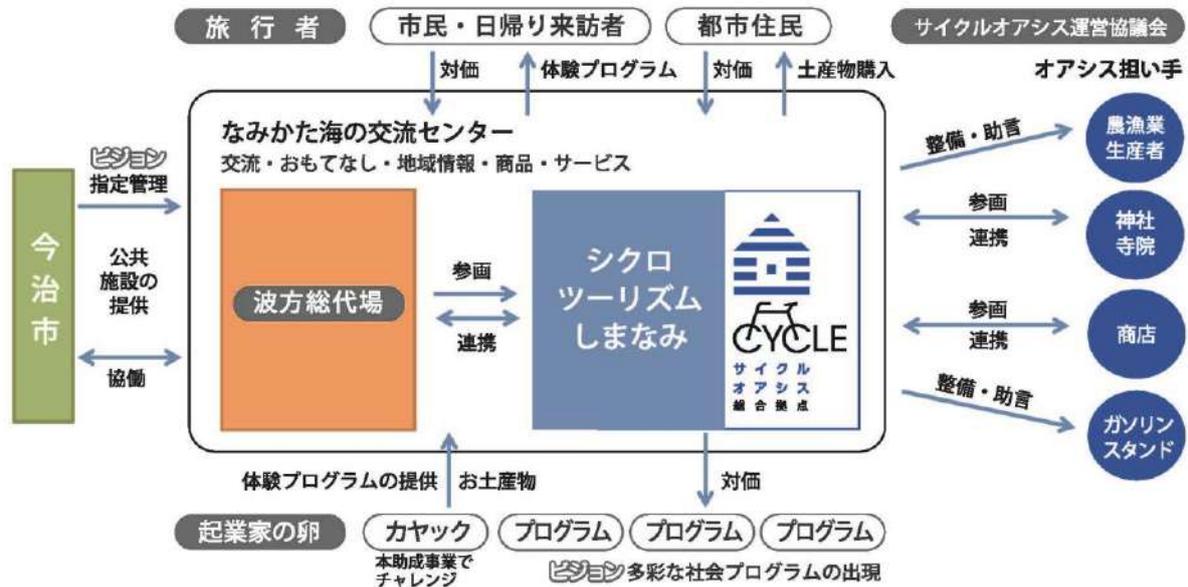
##### ①はまかぜサイクルオアシス整備の基盤

地域へ提案し、しくみ化した「サイクリスト休憩所“サイクルオアシス”」。地域住民が軒先を休憩所として提供するしくみで、物心両面をサポートする多様な担い手がいる。旧港湾事務所はサイクルオアシスの総合拠点とし、周遊型・滞在型の行動を促す情報提供・発信機能を強化した。



## ②地元（波方総代場）との連携

瀬戸内の交通の要衝として海運の町である波方町の自治会。海と共に栄えた海事の歴史を継承する資料収集と展示を進めており、連携を強化した運営を行った。



## ③愛媛マルゴと自転車道との整合性

自転車の旅は地域の名所をつなぐだけではなく、その間の移動の過程＝「道」を楽しむ。地域の風土を知り、人と出会う旅はリピート率が高い。愛媛マルゴト自転車道の構想は、リピーター獲得に必須で、「しまなみ海道」とつながるルートのご案内が求められる。本プランが提案するのは「瀬戸内トライアングル構想」でこの構想の「へソ」となるのが「波方港」である。



●平成26(2014)年8月30日 愛媛新聞



ii. 具体的活動

[シクロサロンVOL. 3]

日 時：平成26年4月13日（日）13：00～17：00

会 場：波方集会所（今治市波方町波方）

テーマ：住民参画でつくる居場所づくり

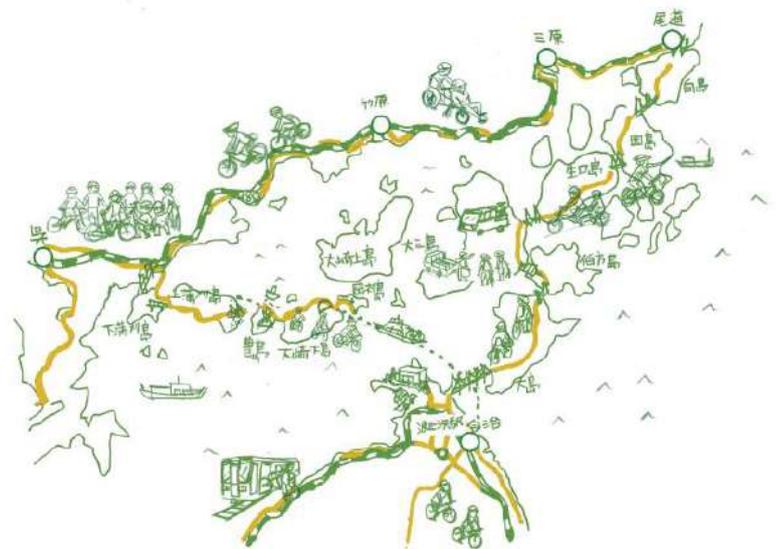
参加者：80人

講 師：岡崎直司氏（地域評議委員）



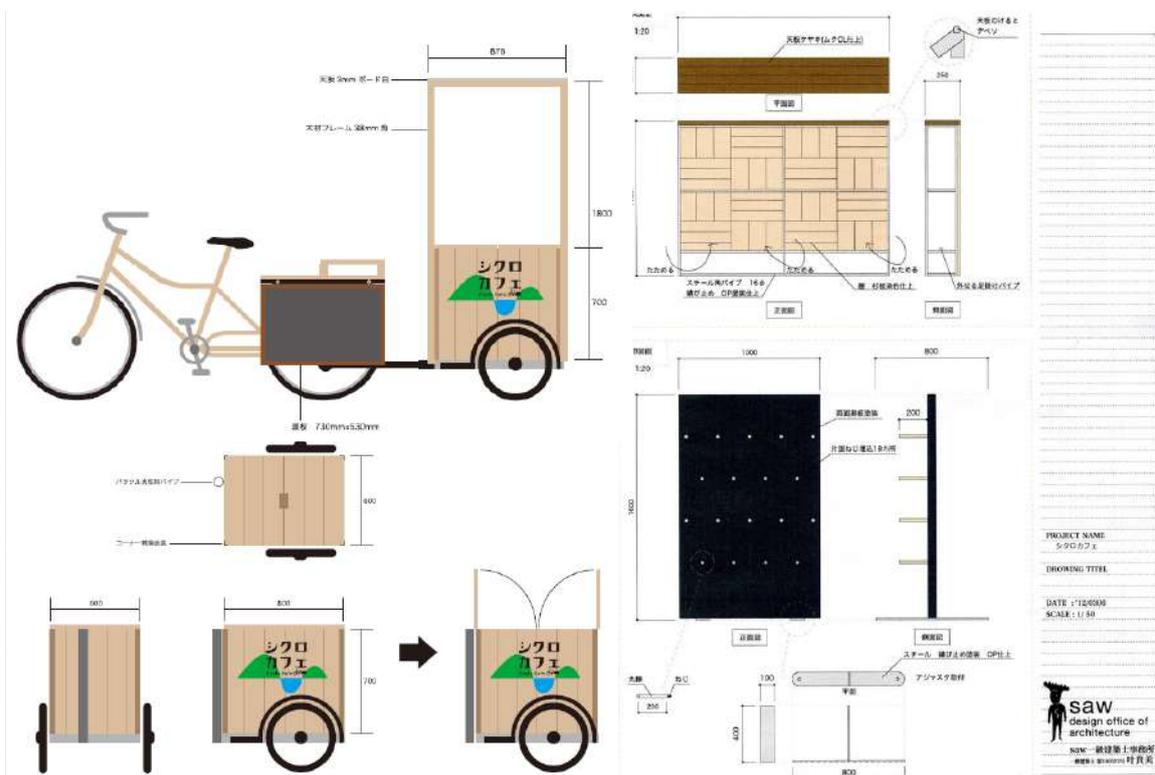
「しまなみ海道」とつながる海岸線「はまかぜ海道」沿いの港・波方港。2009年4月に中四国フェリー航路が廃止され、その後、賑わいがなくなった港再生へ協議を重ねる住民組織がある。瀬戸内サイクルツーリズム構想を共有し、滞在・周遊型来訪者を呼び込む方向性へ当事者意識を高め、パートナーとして協働歩調をとる体制が整った。総合拠点として建物を事業について、共有し合うワークショップを行

「しまなみ海道」の今治市側の玄関口である「レンタサイクルステーションサンライズ糸山」から、海岸線を楽しみながら、四国の最北端へ誘う道「さざなみ海道」。来島海峡大橋や多島美を大パノラマで楽しめるルートはポテンシャルが高い。その魅力を住民が再認識し、今後、受入体制整備を進めていく当事者としての一步を踏み出すものとなった。



[専門家との連携]

カフェ空間創出と自転車博物館構想実現にあたり、平面図作成などを進めた。





自転車旅行博物館に併設したカフェコーナー

ゆったりとこだわりの味をどうぞ!

● cafe

地元の方も旅人も、気軽に立ち寄れる交流空間。自転車のこと・旅のことを語り合う、ゆっくりした時間をお過ごしください。地産食材を使ったドリンクもご用意しております。しまなみの旅を支える書籍、しまなみグッズも販売しております。



● namikata maritime museum

### なみかた海の交流センター 海事資料室

海事都市の歴史を紹介する展示室があります。



### シクロツーリズムしまなみです!

「しまなみが好き・旅が好き・自転車が好き」そんな「シクロツーリズムしまなみ」は、地元の方から旅人まで、自転車が好きな方もそうでない方も、様々な方が、自転車・旅の楽しみを再発見できる交流空間づくりを目指します。

タンデム自転車に乗って夫連で世界一周の旅へ。10年の歳月をかけ、廻った国は89カ国になりました。旅の面白さ、自転車の魅力、そして経験から得た「知恵」「教訓」を伝えたい、そんな思いを込めて運営します。



シクロツーリズムしまなみ ボタリングガイド 宇藤啓一氏

● cycle museum

### 自転車旅行博物館

旅を見る 触れる 学ぶ

自転車旅行文化を紹介するコーナー

旅で使った愛車、旅のバイブル書籍、臨場感溢れる写真展示などをお楽しみください。

期間ごとに様々な企画展を行います。自転車を愛する著名人の旅アイテム等、個人所蔵のとおき品の品に出会えるかも。



● hot-bull engine

### 焼き玉エンジン(屋外)

近代遺産としての価値を有する焼き玉エンジンは必見の価値あり。



あなたの自転車旅のアイテムをお寄せください。

子どもから大人まで、多世代の方に自転車の魅力を伝えたい、日本全国から世界まで、多文化の交流をしまなみで創りたい、そんな博物館です。写真、書籍、自転車・旅グッズを介してのコミュニケーションづくりにあなたの一品をご提供ください。

### 願いを共有できる方、一緒に運営しませんか。

ゆっくりと、でも自力で着実に進む「自転車」。そして「旅」。そこには自転車がつなぐ「人と人の出会い」、自転車だから集づく「大切なモノ」があります。そんな自転車の魅力、自転車まちづくりの可能性を信じて運営しています。賛助いただける方を募集しています。

#### 4. 自転車先進都市の玄関口での「サイクルオアシス総合拠点」整備事業（平成26年度愛媛県観光集客力向上支援事業）

快適で安心・安全なサイクリング支援、利便性あるサービス提供と「人・地域情報」をベースにした交流促進の総合拠点を整備する事業を進めた。レジャーとして選択されるようになったサイクリングの愛好者受入、レジャーサイクリング先進地としての認知度向上に寄与する取り組みとなった。

##### （1）サイクルオアシス総合拠点の整備

自転車休憩所「しまなみサイクルオアシス」はしまなみ島しょ部に点在し、瀬戸内海を見渡す臨海部に拡充している。その各オアシスの中継地となり、「サイクルトレインしまなみ号」停車駅である「JR今治駅」前に「サイクルオアシス総合拠点」整備した。

##### ア. みんなでつくろう！サイクルオアシス総合拠点

戦後の趣を残す長屋の建具等をいかし、「ほっと一息できる“家”（＝『オアシスマーク＝家』から派生・総合拠点は『シクロの家』と命名）」のような空間づくりを市民ボランティア参画型で行った。全国各地から19名のボランティアが参加し、休息空間（リビング）、メンテナンス空間等に配する木製の家具・駐輪備品等を皆で手づくりした。



7日にオープンするシクロの家で、テーブル作りに励むボランティア

### サイクリスト交流拠点 着々

今治市のNPO法人「シクロツーリズムしまなみ（山本優子代表）」が手掛ける「シクロ交流施設」の宿泊交流施設「しまなみゲストハウス」が7日にオープンする。シクロの「家」（同市北宝来町1丁目）が7日にオープンする。シクロの「家」は、全国各地から駆け付け、追い込み作業に追われている。今治市のほか福島県や埼玉県、広島県などから来たボランティアがペンキ塗りなどの作業をしており、3日はシクロの家は県などが瀬戸内しまなみ海沿線で整備を進めている。

製作に汗を流した。北九州市小倉南区から参加した林留美奈さん（23）は「旅人と地元の人交流できる場になればうれしい」と期待した。

シクロの家は県などが瀬戸内しまなみ海沿線で整備を進めている。

### ボランティア作業に汗

5日午後3時から見学会があり、終了後にウミホテルを觀賞するナイトサイクリングもある。宿泊施設（2階部分）の利用開始は今月下旬の見込み。問い合わせはシクロの家、電話0898（35）4496。（野田貴之）

## イ. 準備したサービス

しまなみ海道サイクリングの起終点として最適な「JR今治駅」前に拠点を整備した。「JR今治駅」は全ての特急列車の停車駅であり、島しょ部や市内各地を結ぶ路線バスや高速バスの乗り場がある分かりやすい立地であり、オープン前から一時利用を求める声が寄せられた。ニーズに即したサービス、回遊と滞在を促す地域活性の起爆剤となるしかけの両面の機能を検討し、提供の準備を進めた。

### ●サイクリングサポート●

バイクチェック、メンテナンスができるよう、必要機材を配備した「セルフバイクメンテナンスルーム」をおいた。タイヤチューブの販売も行うなど、総合拠点の機能を備えた。コインロッカーに入らない自転車、手荷物の一時的預かりのニーズに対応するため、拠点にはスタッフを配置し、ルート案内等の起點サービスを充実した。また、終点時にはシャワー、洗濯ができるよう設備を整えた。



### ●リビングでの情報提供●

今治市のまちなか情報の収集し、マップづくりを進めた。商店街、カフェ・飲食店、スーパー等のニッチ情報を可視化し、スタッフがガイドンズできるよう研修を行った。ガイドンズを行う空間「シクロリビング」には自転車関連の書籍を充実し、サイクリスト同士の交流はもちろん、地域の人が気軽に出入りできるよう空間演出を進めた。



カフェスペース



## サイクリストに 我が家の安心感

### JR今治駅前にゲストハウス

サイクリストらがカフェで休息し、自転車の整備ができる拠点施設「しまなみゲストハウス シクロの空」が7日、JR今治駅前オープンした。8月から宿泊もできる。運営する今治市のNPO法人シクロワイルドが、8月1日より、1階には愛媛の果実を使ったジュースやビールなどが楽しめるカフェ、自転車関連の書籍約100冊を置いた談話室などがある。

8月に2階の宿泊スペースが完成する予定。2段ベッドを置いた相部屋や個室3室があり、14人が宿泊できる。素泊まりのみで、1泊の料金は個室は1人3千円、相部屋は2500円と安く抑えた。

整備室には空気入れや工具などを置き、無料で使える。洗濯機、乾燥機（いずれも有料）を設けてサイクリストの長期旅行を助ける。共同のシワールームも備えた。NPOのスタッフへ。

カフェの営業は午後3時から11時。宿泊の予約、問い合わせはゲストハウス（0898・35・4496）へ。

●平成26(2014)年7月8日 朝日新聞

## (2) サイクルオアシス総合拠点のオープン

### ア. 見学会の開催

地域の人が気軽に立ち寄り、旅行者と交流を深めていただけるよう、地元住民に向け、施設の先行公開を行った。「しまなみを訪れてくれる旅人に我が家のようにゆっくり過ごして欲しい!」「増えるサイクリストの快適で安心・安全なサイクリングを応援したい!」そんな願いを伝え、オープン後は地元の人も気軽に立ち寄って欲しいとのアナウンスを行った。また、総合拠点に併設する「宿泊機能」のオープン準備中期間であることを利用し、「宿泊機能」部分へ求めることも含めたアンケートを実施した。

日時：平成26年7月5日(土) 15:00~18:00

会場：サイクルオアシス総合拠点「シクロの家」

来場者：75名



[アンケート結果] 43名回答

i-性別 (人)

男性	26
女性	17

ii-年齢 (人)

10代以下	5
20代	4
30代	8
40代	10
50代	7
60代	7
70以上	2

iii-施設への印象 (人)

大変よい	35
よい	8
やや悪い	0
悪い	0



### <意見>

- ・テーブルがステキ! みんなでワイワイお話しできそう。
- ・キレイ! まるいテーブル、イスが良かった。
- ・こじんまりしていてもあたたかくて過ごしやすそう。
- ・こじんまりして感じが良い。
- ・広くない空間を実に合理的に安らぎの場に活かしている。
- ・明るくて、程よい広さでコミュニケーションがとりやすそう。
- ・開放感があって明るくて、居心地がいい。(3)
- ・新築☆という感じで、とてもきれい。
- ・落ち着いた素敵な空間/お洒落な雰囲気です。落ち着いた。(2)
- ・おしゃれでスゴイ! きれい、センスが良い。(4)
- ・落ち着いたスペースがあり、ゆっくりとくつろげる。
- ・ほんわかした空気感が流れているのが伝わってくる。
- ・白基調の壁は清潔感がある。清潔感バツグン!(2)
- ・清潔感があり、心地よいスペース。
- ・木をたくさん使っていて落ち着く。あたたかい(3)
- ・木目が前面に出ていてやさしさを感じる。
- ・木の香りがして癒される。(3)
- ・カフェスペースもあり、気軽に立ち寄れそう。
- ・くつろげる雰囲気。甘夏アイスティーが美味しかった。
- ・シャワー等、サイクリストが喜ぶ施設が整っている。
- ・玄関口に交流スペースを配置しているのが魅力的。
- ・サイクリング後の見学だったので本当にゆっくりできた。
- ・たくさんの出会いが期待できてわくわくした。
- ・自然とみんなが話し出す感じがする。
- ・想像以上の出来栄に驚いた。
- ・思っていたよりもきれいで驚いた。

- ・改装前の様子からは到底想像できない。
- ・シンプルだが自転車の旅人が必要なものが揃っている。
- ・外国の方に紹介したい場所だと思った。
- ・自転車置き場、洗濯スペース、メンテナンスコーナーとサイクリストには喜ばれる。
- ・自転車を保管する屋内スペースが嬉しい。
- ・宿泊しない人もシャワーが使えるのは良いと思う。

- ・シャワースペース etc.ありがたい
- ・サイクリングはしたことないけど、また来たいと思う！
- ・明るく、皆さんが集うのに最高のゲストハウス！
- ・自転車保管場所の工夫(天井吊下げ式等)により、駐輪台数を確保しても良いかなと思う。
- ・このスペースから、たくさんの出会いが生まれたらいい。

#### iv-「宿泊ルーム」への期待(人)

寝心地	16
サービス	5
清潔感	30
その他	0

#### <意見・理由>

##### (寝心地)

- ・サイクリングに疲れた後に気持ちよく過ごせたらいい。
- ・すごく足が疲れていると思うので。
- ・サイクリングに疲れた体を癒すにはやはり睡眠！
- ・疲れを癒すため。
- ・安心して眠れないと次の日にかかわるから。
- ・寝ながら癒せるグッズ等置いていただけたら嬉しいと思う。

##### (接遇)

- ・スタッフが温かく迎えてくれること。
- ・スタッフの印象。(2)
- ・接客の質に期待したい。(笑顔のおもてなし)
- ・まず第一は、スタッフの笑顔。(2)
- ・若さと情熱。
- ・温かい言葉の会話。今治の土地のイメージアップを。
- ・県外から来た人には、四国＝おもてなしのイメージ。
- ・スタッフや他の宿泊者との距離感が大事。
- ・スタッフは地元の情報をたくさん揃えて。(2)
- ・今治市内はもちろん、市外、近郊エリアの観光やサイクリング事情等を知らせて。
- ・グラスコップの「シクロの家」。そんな細かなこだわりを。



##### (清潔感)

- ・掃除が行き届いていれば何の文句もない。
- ・清潔感が一番。これ大事にしてほしい。(3)
- ・清潔感は長続きする。汚いと次第に利用者が減る。
- ・清潔感をモットーに。
- ・圧迫感のない清潔感がいい。
- ・日本らしい清潔な空間。(畳がないのが残念)

##### (サービス・その他)

- ・安価な料金設定。(2)
- ・アットホームなサービス。
- ・プライベート空間の確保。
- ・予約状況が分かりやすいこと。
- ・親しみが持てるようなスペースを。
- ・利用者同士の交流ができたらいい。
- ・女性が一人でも泊まりやすいところがあればありがたい。
- ・1名でも宿泊できる気軽さがあればいい。
- ・あたたかいお湯が充分に使えるといい。
- ・加湿器と耳栓があれば嬉しい。



## イ. 実際の利用

利用者視点に立った使い勝手がいい備品・設備は好評で、多くの一時利用者が訪れた。



自転車に関するスキル、技能、地域に関する知識を保有したマネジャーを訪ねて足を運んだり、しまなみ海道を旅行中の著名サイクリストの滞在情報を知り、会いに来たりするなど、出会いの場となり 県内外・国外サイクリング愛好者の交流ポイントとしての認知度が高まった。

また、各オアシスポイントの担い手への指導、相互交流の場づくりも進んだ。

## ウ. サービスの充実

利用者視点に立った使い勝手がいい備品・設備は好評で、多くの一時利用者が訪れた。

### ●マップづくり●

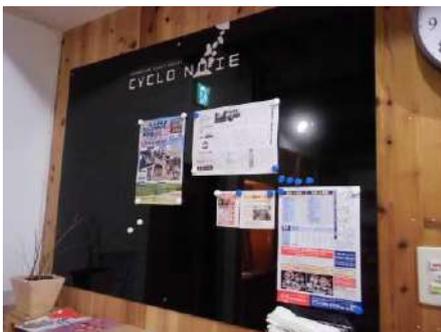
銭湯、商店街、カフェ・飲食店、スーパー等の周辺情報を集め、マップ化した。



「今治は1泊では楽しみきれませんね」「歩いて楽しいまちですね」との声があがり、また、マップで紹介した個店からサイクリスト来店への喜びのフィードバックがあったりと、手応えを感じた。

### ●リビング運営●

一時利用のサイクリスト、地域の人が気軽に出入りできるリビング運営を行った。地域行事を告知する掲示板を設け、地元情報を積極的に広報した。



### (3) 滞在促進モニターツアーの企画・運営

オープンと同時に、立地周辺のステークホルダー（宿泊施設、温浴施設、駅弁・パン屋、商店街、飲食店等）への連携を求め、ヒアリングを実施した。また、今治市内滞在者をターゲットにしたミッドナイトツアー企画の趣旨を説明し、モニターツアーを開催した。モニターツアー終了時には、早々に定期的な開催を求める声があがったことから、早速、プログラム化することとした。

#### ア. モニターツアーの開催

「しまなみ海道」を目指して来訪したサイクリストの多くは、島々を巡り、橋をおりとゴールという印象を持っている。陸地部海岸線の楽しさ、まちなか資源をつなぐモニターツアーを実施し、新たなプログラム構築を目指した。

#### ツアーレポート①

##### 海ホテルにライトアップ！ナイトサイクリング！

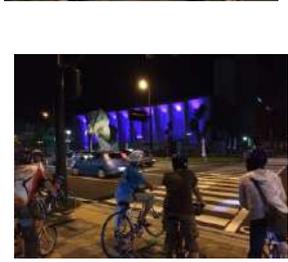
日時：平成26年7月5日（土）18：15～20：30

ルート：サイクルオアシス総合拠点「シクロの家（今治駅前）」→今治港→今治商店街  
→はまかぜ海道海岸線（近見湊町）→「シクロの家」

距離：13km

所要：2時間45分

レジャーサイクリング愛好者の情報・交流拠点としてオープンを迎える「シクロの家」。地元サイクリスト等を対象にオープン前見学会を開催。見学会参加者を対象にしたモニターツアーを同時開催した。しまなみサイクリングと言えば、「橋・島」という印象があるが、今治市臨海部やまちなか回遊も潜在的に魅力がある。評価いただき、今治での滞在につなぐプログラム提案を志向しての実験的取り組みとなった。初回のモニターツアーは、夏の夜を楽しむツアー。きれいな海の砂浜に生息するといわれるウミホテルを今治で見ることができるということをメインに構築した。明るいうちから出発し、今治の路地の魅力を堪能していただき、恒例の土曜夜市の活気にも紛れ込んだ。いよいよ暗くなってきたところで海へ向かい、ウミホテルの幻想的な光に包まれた参加者の満足度は大変高かった。

<p>■18:15 今治駅前「シクロの家」/スタート 地元サイクリスト・県外ボランティア等、多数が来場したサイクルオアシス総合拠点「シクロの家」見学会来場者。見学会参加者から約20名が参加し、ナイトサイクリングスタートです。ほとんどの参加者はウミホテルを見たことがないということ。コース説明中にどんどん期待感が高まります。</p>	
<p>■18:25 蒼社川→東門橋 まずは今治市中心部を流れる蒼社川へ。ふと川に目をやるとたくさんの鯉が…。「すご〜い」との歓声が参加者からあがります。ちょっとした感動を胸に、城下町・今治の東口にあたる東門橋へ。この橋、人ひとりがやっとすれ違える程の幅…。「何、この橋！」とまたまたビックリ感動。</p>	
<p>■19:00 今治港 しまなみ海道の開通で船便が現象。かつての賑わいが薄れる今治港。でも、今、“みなと再生プロジェクト”が進行中！交流センターの建設が進んでおり、平成30年の完成を待っています。これから様変わりする今治港。じっくり見入るのは地元サイクリスト達。思い出を語り、写真をパチリ。</p>	
<p>■19:10 今治市中心商店街 この日は恒例の土曜夜店開催日！夜店で大人気の「シクロカフェ」で一休み。傍らでは小さな子ども達が遊ぶ「ライニングバイクのヒロバ」が…。浴衣を着て元気に駆け抜ける様は、自転車のまち&amp;夜店の雰囲気満点！特設のコースで遊ぶ子ども達に「がんばれ！」と応援のエールです。</p>	
<p>■20:00 はまかぜ海道(近見湊町) しまなみ海道から今治市中心部へ続く海岸線は白砂のビーチが美しい「はまかぜ海道」。今治中心商店街から3km程走ったエリアに入り、辺りは薄く暗くなってきました。いよいよウミホテル見学。青い光がうっすらと輝き、何とも幻想的な美しい光に「すご〜い」「きれいな光〜」とうっとり。海へ戻すと一面に青い光が広がり、また感動！癒しのひと時に包まれました。</p>	
<p>■20:50 「シクロの家」 興奮冷めやらぬ中、ゴール地点へ向けペダルを漕ぎます。目に飛び込んできたのは、青い光のライトアップ。光に包まれるのは、丹下健三建築・今治市公会堂です。「きれい」「すごい」と大合唱！短い距離のサイクリングでしたが、普段は、今治市民が車でも通らないルートを堪能するサイクリングに、今治市の新しい魅力を発見できたと好評価でしたよ。</p>	

## ツアーレポート②

### はまかぜサイクリングツアー

日時：平成26年11月23日（日）9：00～12：00

12月7日（日）13：00～16：00

ルート：サイクルオアシス総合拠点「シクロの家（今治駅前）」→はまかぜ海道ライド（今治港～美保漁港～大濱八幡神社（伊藤博文の碑）～波止浜水門～波方港～大角海浜公園～「サイクルオアシス・なみかた海の交流センター～「サイクルオアシス・昌万」）→「シクロの家」

距離：30km

所要：2時間

今治市内の宿泊施設との連携を模索する中、カウンター業務の担当者から「今治市内の独自性あるオプションメニューが欲しい」との声が寄せられた。宿泊翌日の有意義な時間の過ごし方を提案できればと、午前中2時間程度のプチサイクリングプログラムのメニュー化を進めた。1回目は今治市内のサイクリスト、2回目は主に宿泊・リラクゼーション施設の職員がモニターとなり、サイクリングを体験。漁師旗がたなびく漁村を抜けると、突によ現れる巨大造船！しまなみ海道を背景に続く海岸線の魅力に手応えを感じていた。

（1回目ツアーレポート）

#### ■9:10 今治駅前「シクロの家」/スタート

モニターツアー、スタート！今日は風もなく、太陽もさんと降り注いで、絶好のサイクリング日和となりました。今治各地より集まった総勢12名のモニターさんたちと一緒に、本日シクロの家を発つお客様たちを見送ってから出発です。

※2回目は総勢18名が参加。今治市内の宿泊業者などと走行。



#### ■9:30 今治港・美保漁港

最初に向かったスポットは今治港と美保港。古くから港町として栄えた今治ですが、そのシンボルとも言える港に沿って走ります。特に美保港の船が並んでいる光景はなかなかの迫力。こちらの船の先端は、波を効率よく切るの形状になっているため、昔ながらの船でありながらも、とてもエコだそうです。「まるで日本じゃないみたい！」といった声が出ました。



#### ■9:45 来島海峡大橋を臨む

愛媛から広島を結ぶ「しまなみ海道」の最初の橋、来島海峡大橋。遠くから見てもその景色は雄大そのものです。橋の全景が見渡せるスポットで、みんなで橋を眺め、写真を撮りながらしばしの休憩を楽しみます。今治に住んでいる方でもこちら側から橋を眺めることは少ないらしく、「なかなか見れないものを見れた」と喜ばれていました。



#### ■10:05 大浜八幡神社

大浜に入ると、細い裏路地をゆっくりと進んでいきます。地元の方々からの温かい声に元気をもらいながら進んでいくと、大浜八幡神社で伊藤博文の石像がお出迎えです。イギリスから今治に移り住んできたアダムさんは、伊藤博文が誰なのか興味津々でした。池に架かる橋を渡っていく皆さんの姿が水面に映り、とてもキレイでした！



#### ■10:15 波止浜水門

来島海峡大橋の下をくぐり、さらに先へ進むと、波止浜水門では巨大な船が姿を表しました。圧巻の景色に、一同唖然です。やはり造船の町、今治。漁港の方でしょうか、ロープ一本と抜群のバランス感覚でイカダに乗って進んでいる姿が印象的でした。そこからしばらく走ると、今度は別の角度から来島海峡大橋を見ることができます。



#### ■10:50 大角海浜公園

今回のツアーの最終到達点、愛媛県最北端の大角海浜公園です。入り口付近では地元の組合員のみなさんがバーベキューで賑わっていました。岬に到着すると、秋晴れの空の青が海の青と混ざり、きらびやかに輝いていました。展望台までの坂道を汗を流しながら登ったところで、遠く向こうに見えるしまなみの島々をバックに記念撮影です！



#### ■11:40 サイクルオアシス・なみかた海の交流センター・シクロカフェ

帰り道は「サイクルオアシス・なみかた海の交流センター」で、シクロカフェに立寄り。構築中の自転車旅行博物館を見学。ガイドの宇都宮自らが「タンDEM自転車世界一周したときの写真、そして実際に世界を回ってきたときの自転車」など、展示物を案内するシーンも。みかんジュースで一息！疲れた身体にさわやかな酸味が広がって、リフレッシュできました。



#### ■12:05 サイクルオアシス・昌万

最後はサイクリストをサポートしてくれるサイクルオアシスの一つ、お好み焼き屋の昌万さんで小休止。看板娘のみーちゃんが迎えに来てくれました。味のしっかりついたおでんと鯛飯のおにぎりで元気一杯！心も満たされ、ゆっくりと帰路につきました。

[モニターツアーアンケート結果] 21名回答

i-日常的な自転車利用 (人)

趣味の一つ	12
通勤・通学、買い物	5
ほとんど乗らない	4
その他	0

ii-項目別満足度 (人)

	大変満足	満足	やや不満	不満	未回答
(1) ツアー全体の構成	11	9	0	1	0
(2) ルート (はまかぜ海道=しまなみ海道とつなぐルート)	10	11	0	0	0
(3) ガイドの案内・説明	11	9	0	1	0
(4) 地域の人々との交流	13	7	1	0	0
(5) 他のツアー参加者との出会い	10	10	0	0	1
(6) スポーツバイクの体験	12	6	2	0	1

iii. 総合的満足度

大変満足	11
満足	9
やや不満	1
不満	0
未回答	0

- ・ 景色最高。
- ・ オアシスの方々もとても親切。
- ・ オアシスの方々の笑顔で癒された。
- ・ あらためて自転車ってスゴイって思った。
- ・ 今回のコースを基本にして、季節や地域行事などと連動して、柔軟に対応できたらといい。
- ・ 知らない道を走るだけで楽しく、ワクワクした。
- ・ 一人では味気なくても、皆と一緒に走ることで楽しいツアーだと感じた。
- ・ 行きと帰りの道を変えると、景色が変わってもっと面白いかも。
- ・ コース、ガイドの企画は楽しい。
- ・ 途中、ゴミが多いところは地元の人間として恥ずかしく思った。
- ・ 地域の方との交流がもっとあれば、さらに印象に残るツアーになると思う。
- ・ トイレ休憩のタイミングが、言い出しにくかった。
- ・ 水分補給のタイミングも知らせて欲しい。
- ・ 外国人のための案内ガイドブック、アンケート用紙があればいいと思う。(英・韓・中) (2)
- ・ サクリストとしての最低限のマナーの簡単なレクチャーが必要だと思う。(声・手合図など)
- ・ グループ走行時の注意点などをスタート前に示してみてもいい。
- ・ 先導のガイドが説明しても、後ろの人は「何で止まっているの？」としか思っていないかも。
- ・ Very good! (非常に良い!)
- ・ Very satisfied! Thank you! (とても満足しました。ありがとう!)
- ・ It was all very pretty! Thank you! (とても楽しかったです。快適でした。ありがとう!)
- ・ Staff is very friendly. (スタッフはとてもフレンドリー。)
- ・ The bike I rented was very good. I want to buy a sports bike now. (私が借りたバイクは非常に良かった。スポーツバイクを購入したい。)
- ・ I love the goods that the hostel sells. I didn't buy anything today, because I want to bring my friends. Great tour love it! (ホステルが販売している商品を愛する。私は友達を連れて来たいので、今日は何も買いませんでした。素晴らしいツアー、気に入った!)
- ・ Explanation of group cycling. (グループ・サイクリングの説明)、  
Purpose of cycling. (サイクリングの目的)、Lack of road signage. (道路標識の不足)、  
English speaking guide. (英語を話すガイド)

#### IV. ターゲットの想定

サイクリング目的で当地域を訪れたサイクリスト	5
サイクリング目的以外で当地域を訪れた観光客	14
地元住民	1
その他	1

(その他)

- ・誰でもオープンに
- ・地域住民や子どもたちにたくさん参加してほしい。

#### V. 販売価格

1,000 円台	8
2,000 円台	8
3,000 円台	4
4,000 円台	0
5,000 円以上	1

#### vi. 募集情報の提供 (○は複数可)

宿泊施設などの店頭、ウェブサイト	14
旅行会社の店頭、ウェブサイト	3
観光協会などのウェブサイト	11
観光案内所の窓口	7
Facebook や Twitter などの SNS	12
テレビやラジオ、新聞 (広告や番組)	1
旅行雑誌など	5
フリーペーパー	3
その他	5

(その他)

- ・知人の紹介
- ・ I C I E A (今治市国際交流協会)
- ・スポーツジムなどにビラを置く。クチコミ。

#### vii. サイクリングと組み合わせて楽しみたいプログラム

地域の史跡巡りなど歴史堪能プログラム	13
地域の産業・工芸などの説明を聞いたり、体験したりするプログラム	9
地域の食や食材を楽しむプログラム	15
自然の中でゆったり過ごすプログラム	5
カメラでの撮影を目的としたプログラム	10
地域のイベントや祭などの企画と組み合わせたプログラム	7
農山漁村での生活体験プログラム	1
環境学習を目的としたプログラム	2
その他	0

## イ. ツアー販売へのしくみ化検討

今治市内での宿泊の動機付けに資する活動として、宿泊者向けオプションプラン「はまかぜサイクリング」の定期催行の意見交換を行った。

[申込・参加のしくみ]

広報：ホームページや総合拠点内での告知に加え、周辺施設にチラシ設置

申込：輪行待ちサイクリスト、周辺施設（宿泊施設等）利用者が当日16：00までの申込で参加



[2015年度 展開時のパンフレット掲載イメージ]



### ご宿泊の皆さま

本ツアーは「しまなみ自転車旅の宿（今治市陸地部）」にご宿泊のお客様が無料で参加できるモニターツアーです。ツアー前日の19：00までにご宿泊施設のフロントにてお申し込みをお済ませください。

※既に定員一杯で参加できない場合はご了承ください。

※集合・解散場所までの送迎はありません。

※レンタサイクルは有料です。台数に限りがあり、貸出対応ができない場合があります。ご確認ください。

#### 4. その他の委託事業

##### ①「自転車ヒロバ」開設業務（上島町）

上島町合併10周年記念イベント「ゆめしまフェスタ」において、「自転車ヒロバ」をオープンした。自転車の聖地として注目度が高まる「瀬戸内しまなみ海道」には多くのサイクリストが訪れている。リピーターも増える中、瀬戸内海の中央に浮かぶ離島・上島町にもサイクリストの来訪が急増している。そんな中、地元子ども達が自転車の魅力を体感するコーナーとして運営した。

日 時 2014年9月28日（日）11：15～15：00

会 場 立石港周辺

体験者 約230名

だんじりかきくらべ、タレントショーなどで盛り上がる特設ステージ、バザー出店などで盛り上がる会場内に「ランニングバイクコース」を設置した。ランニングバイクはペダルがなく、地面を足で蹴って進む内に、バランス感覚を覚えることができる乗り物で、昨今、未就学児に人気の幼児用玩具である。お子様連れの来訪者の多くが体験に訪れ、時には順番待ちの列ができるほどの盛況ぶりだった。2歳から小学低学年までの異年齢の子ども達が譲り合いながらコースを走行した。初めて体験するお子様も多く、コースを何周も回り、全身を使って楽しんでいた。



コースには併設して、ご当地ドリンク提供のカフェ「シクロカフェ」をオープンした。我が子を見守りながら、保護者が歓談するなど、憩いのひと時を楽しんでいた。お祖父様、お祖母様と連れ立っての参加も見られ、三世代交流の和やかな空間となった。自転車ムーブメントが吹く中、スタッフに自転車まちおこしの現状を質問する来場者も見られた。小さな子ども達が参加するイベントを通して、住民が自転車の魅力を体感したり、自転車に安全・安心して乗れるまちづくりの大切さを情報交換したりできる機会となったと感じている。

## ②しまなみランニングバイク選手権2015inレインボーハイランド

自転車新文化の普及啓発を進める愛媛県において、本イベントは未就学児に自転車の楽しさや交通規則の周知を体験型で学ぶ企画として、松山市野外活動センターからの委託を受け、松山市での初開催となった。当日は朝から冷たい雨が降り続け、霧も立ちこめる最悪のコンディション。キャンセルが続出することを心配したが、その数は予想よりも少なく、子ども達を真ん中に、三世代が交流しながら自転車に親しむ時間を過ごすことができた。芝生広場外周に設けた特設コースは、大きな山あり、トンネルありの冒険心をくすぐるもので、子ども達は笑顔いっぱい駆け抜けた。

県外来訪者を中心に、初めて「松山市野外活動センター」を訪れた参加者も多く、自然の中で様々な体験活動ができる施設であることは周知でき、また、春休み前の閑散期の利用に直結した。ランニングバイクの練習にも適した施設であることから、松山市内のランニングバイク愛好者の経常的な利用に資する取り組みとなるよう育てていきたい。

日 時 2016年3月1日（日）10：30～15：30

会 場 松山市野外活動センター（愛媛県松山市菅沢町乙280番地）

来場数

### ①選手

クラス	生年月日	参加者数
2歳クラス	2012年3月2日～2013年3月1日生まれ	23名
3歳クラス	2011年3月2日～2012年3月1日生まれ	53名（パンフレット掲載人数55名）
4歳クラス	2010年3月2日～2011年3月1日生まれ	36名
5歳クラス	2009年3月2日～2010年3月2日生まれ	43名
合計		155名

### ②来場者数

450名



### (2) その他

#### ①自転車マナー・規則啓発

雨天のため、ステージでの自転車クイズは中止したが、安全運転宣言コーナーを設置。パンフレットにあるクイズにチャレンジし、ブースで答え合わせをする姿が見られた。



#### 4. ツアー販売（地域限定旅行業）

法人設立以来、自転車旅行に特化した着地型ツアーを企画・提供してきた。2013年度、交通・宿泊を一体的に販売するため、旅行業法に則ったの体制整備に着手。2014年3月10日「地域限定旅行業社」として認可を受けた。これに伴い、企画旅行、手配旅行を多様な機関、住民とのタイアップのもと提供した。

##### ① サイクルトレインしまなみ号（手配旅行/四国旅客鉄道株式会社 ワープ松山）

自転車を解体せず、そのまま車内に持ち込める「サイクルトレインしまなみ号」を提供した。

業務内容：予約受付・JR波止浜駅オペレーション

運行日：春 15回（4/19（土） 4/20（日） 4/26（土） 4/27（日） 4/29（火） 5/3（金）5/4（日） 5/5（月）  
5/6（火） 5/10（土） 5/11（日） 5/17（土） 5/18（日） 5/24（土） 5/25（日））  
秋 25回（9/20（土） 9/21（日） 9/23（火） 9/27（土） 9/28（日） 10/4（土） 10/5（日）  
10/11（土） 10/12（日） 10/13（月） 10/18（土） 10/19（日） 10/25（土） 11/1（土）  
11/2（日） 11/3（月） 11/8（土） 11/9（日） 11/15（土） 11/16（日） 11/22（土）  
11/23（日） 11/24（月） 11/29（土） 11/30（日））

ダイヤ：往路）松山 発 7：29頃 → 波止浜 着 9：04頃 → 今治 着 9：12頃  
復路）今治 発 17：48頃 → 波止浜 発17：56頃 → 松山 着 18：49頃



##### ② サイクルボートしまなみ号・ボート連動ツアー（企画旅行）

運行日	第1便	第2便	第3便
5/4（日）	26	26	9
9/14（日）	22	7	1
11/23（日）	10	14	
合計	58	47	10



### ③ シクロガイドツアー（企画旅行）

サイクルポートしまなみ号と連動した1泊2日、2泊3日型としてツアーによる回遊・滞在促進に取り組みつつ、活動開始当初からビギナー対象に行ってきた日帰りガイドツアーを春のベストシーズンを中心にを行った。参加者の体力や嗜好などに合わせ、安心感や手軽感を打ち出したが、集客には課題を残した。

#### ツアーレポート① 「ぐるぼた（しまなみグルメポタリング）」

日時：4月19日（土）・5月5日（月・祝）

ルート：JR波止浜駅→大島・下田水港→吉海商店街→よしうみバラ公園  
→大浜→今治市街→JR波止浜駅

距離：40km 所要：8時間

大島と今治市街の美味しいものを巡るプチグルメツアー。代々受け継がれてきた自慢の味や地元で人気のおやつなど、大島・今治の“うまいもん”をとことん味わいつくした。今治以外の参加者が多く、このツアーに参加しなければ知り得なかった味との出会いにとっても満足していたようだった。



#### ■9:00 JR波止浜駅集合/スタート

サイクルトレインを利用しての参加者に合わせ、集合・スタート場所をJR波止浜駅に設定。スタッフ紹介、参加者の自己紹介を行い、和気藹々とした雰囲気ですスタート。来島海峡大橋を渡り、大島の自転車歩行者道から間もない下田水港へ。



#### ■10:10 大島/下田水港・島じゃこ天

一つ目のグルメの島じゃこ天。この島じゃこ天は、地元漁協の婦人部が地元で獲れた魚を使い工夫を重ねて作り出したもので、魚の旨味甘味が堪能できる。目の前で次々と揚げる手際よさに感心しつつ、あつあつの島じゃこ天を頬べる参加者からはそのおいしさに歓声が上がった。



#### ■11:00 大島/吉海商店街・お肉と総菜 西屋

2つ目のグルメとして吉海商店街にある「お肉と総菜 西屋」の焼き豚。愛媛県産の豚肉を三代受け継がれてきたタレでじっくり焼いた焼き豚は、この店のこだわりの味。柔らかさと味のよさに「こんなおいしいものがあるなんて」と参加者はみな驚いていた。



#### ■11:30 大島/よしうみバラ公園・つきや

バラが咲くにはまだ少し早いが、「合成添加物、着色料なし。あと口がよい」と評判の地元菓子舗がつくるアイスクリームを目当てにバラ公園へ。バラアイスを食べた人は、「バラの香りがする」と満足そうだった。塩アイス、デコポンなど、しまなみならではの味も人気だった。



#### ■13:00 今治市大浜/お好み焼き 昌万

来島海峡大橋を渡り、今治市街へ。途中大浜にある「お好み焼き 昌万」で、本日4つ目のグルメであるお好み焼きを賞味。お好み焼きの味もさることながら、この店は女将の“ミーゴ”ちゃんが名物。その豪快な笑顔とトークにファンは多く、今日もハートフルに迎えてくれた。



#### ■14:10 今治市街/松月堂

5つ目のグルメ、地元で人気のたいこまんをめざして今治市街へ。店内で焼き上がるのを待っていると、ひっきりなしに買い求めるお客さんがやってくる。子どものころから食べていたというお客さんも多らしく、まさに今治市民のおやつなのだ。そのたいこまんを熱々のうちに。



#### ■14:40 今治市街/フランス屋

6つ目のグルメは、老舗パン屋さんの作るドーナツ。50年以上前から続く懐かしい味だ。以前はたくさんの種類があった商品も、今はドーナツも含め3種類のみ。空いたショーケースに寂しさを感じるが、続けている気概も感じる個店。

#### ■15:10 今治市街/中村屋

今治港近くの中村屋へ。ここで、7つ目のグルメ、豆すまきを味わう。すまき（簀巻き）は今治地方独特の伝統かまぼこ。かまぼこ生地を藁で巻き蒸したもので、初めて知ったという参加者も。製法、食べ方など聞き、試食。

#### ■15:30 今治市街/マルズミ

最後のグルメは、陽気な店主が出迎えてくれる、創業96年のお菓子屋ソフトクリーム。バニラ、抹茶、マンゴー、イチゴの4種。好きなものを注文し、味わってもらった。また、話し好きな店主の止まらないトークで楽しい時間を過ごしてもらえた。

#### ■16:30 JR波止浜駅 ゴール・解散

計8つのグルメを楽しみ、満腹度も満足度も高いツアーとなった。今日訪れた店を再訪してもらえれば、しまなみ、今治の活性にもつながることだろう。今後も地元とのつながりを作れるツアーを企画していきたい。

ツアーレポート②「しまなみ海道ハーフライド～癒しの大三島ハーブツアー～」

日時：4月26日（土）8：00～17：00

ルート：JR波止浜駅→大島→伯方島→大三島→→伯方島→大島→JR波止浜駅

距離：60km 所要：9時間20分

しまなみサイクリングの王道コース、JR波止浜駅からしまなみの中間地点大三島へしまなみハーフライド。大三島の七曜工房をめざしてサイクリング。



春から新緑の季節へと移り変わるしまなみを満喫した。

大三島へしまなみハーフライド。メイン立ち寄りポイントは、大三島「七曜工房」。春から新緑の季節へと移り変わるしまなみを満喫した。



■9:00 <今治市>JR波止浜駅集合/スタート

サイクルトレインに合わせJR波止浜駅からスタート。今回はタンデム自転車での参加者も。快晴の中、螺旋を描くスロープを走り、来島海峡大橋へ上る。春の日差しと海の風が気持ちいい！橋の上ではたくさんのサイクリストやウォーキングをしている方達とすれ違った。



■9:40 来島海峡大橋～大島/サイクルオアシス青山石工房大島

大島に入ってからメインルートを外れ、海岸線へ。サイクルレスキュー事業に協力してくださっている、渡辺自動車さん、サイクルオアシス青山石工房さん等、地元で受け入れてくださるポイントで一休み。立ち寄られたサイクリストの方にお茶をだしておもてなししている。うれしい。



■11:15 大島/民宿千和

伯方島を目指しペダルを踏みだした矢先、民宿千和の女将さんと出会う。「寄っていき～」とお呼ばれることに。揚げたてのタコ天をいただいた。目の前の海でご主人がとってきた新鮮なタコを使用しているとのこと。プリプリのタコとサクサクの衣、うーん、おいしい！



■12:20 伯方島/伯方SCパーク ランチタイム

一息ついたら、大島・伯方大橋を渡り伯方島へ。伯方SCパークでは、人の形をしたサイクルスタンド「6人のシクロツーリスト～MR.HAKATAJIMA」に自転車を停めて記念撮影。2Fで地元のお母さんたちが毎月第4土日だけオープンしている「愛の地産地消レストラン」でのランチだ。



■14:00 大三島/大三島橋、鼻栗瀬戸

大三島に向かう途中造船所で進水式の準備中の新造船をみた。万国旗が舟にかかり、紅白幕の舞台。何とも盛大。その後、鼻栗瀬戸にかかる大三島橋を渡り、大三島へ。橋をおりたら抜け道を通り一気に海岸へ下る。降りた先は大三島橋を見上げる絶好のビューポイントだ。

■14:15 大三島/農家喫茶ハーブ&クラフト 七曜工房

海沿いののどかな道を走り、七曜工房へ。七曜工房は堀内さんご夫婦が営んでいる工房&喫茶で、庭で栽培しているとれたてのハーブをつかったフレッシュハーブティや、旦那さん手作りの木作品を販売している。工房に足を踏み入ると、まず目に入ってくるのはたくさんの花。そして聞こえてくるのは小鳥たちのさえずり。まるでこの世の楽園のよう…。奥さんの裕子さんにハーブの話聞きながら、庭を散策し、ゆったりとした時間を過ごした。そして、この日のフレッシュハーブティはカモミールとレモンバーム、それにミントのはいったハーブティ。一口のむと爽やかなハーブの香りがすーっと鼻を抜けていく。それと同時にここまで自転車をこいできた疲れも抜けていくようだった。



■16:30 七曜工房出発/18:00 大島椋名の海岸線の夕日

あまりの居心地の良さにすっかり長居をしてしまった。名残惜しいが、日が暮れる前に今治に戻るために出発。ハーブティを飲み、リラックスした時間を過ごしたおかげだろうか、体がとても軽く感じた。休憩をはさみながら今治を目指す。帰路は海面に夕日がキラキラと美しかった。

■18:50 波止浜駅到着

日が暮れる前に波止浜駅に到着。走行距離60kmを超えるちょっとハードなサイクリング。大きなトラブルもなく無事完走できた。島の方達のおもてなしや、ゆったりとリラックスできる島時間の魅力を感じてもらえた。また、サイクルオアシスやサイクルレスキューといった、自転車ビギナーの方達にも安心してサイクリングを楽しんでもらえる仕組みに改めて感動のツアーだった。



ツアーレポート③ 珍島物語を間近に！「ミステリー海割れツアー」  
 日時：4月27日（日）  
 ルート：JR波止浜駅→伯方島・伯方SCパーク→大三島・鼻栗瀬戸展望台  
 →伯方島・大角豆島→JR波止浜駅  
 距離：70km 所要：8時間20分



伯方島の瀬戸浜沖に浮かぶ大角豆島は、干潮時、海底が道となって現れる「トンボロ現象」が起こる場所。あまり知られていないようで、訪れる人も少ない穴場でもある。潮が引くにつれ徐々に道が現れる様子は、自然の不思議をまざまざと体感でき感動的だ。歩いて渡ることもできる。この場所をめざしたロングツーリングを企画した。

■9:00 JR 波止浜駅集合/スタート

集合・スタート場所はJR波止浜駅。受付のあとツアーの行程、注意事項などの説明を行った。スタッフ紹介、参加者の自己紹介を行い、参加者どうしの親近感を図った。今日は、行程70kmほどのロングツーリングである。途中、事故やケガなどないように、体調を確認しながら準備体操を行い出発した。



■10:00 大島/棕名の公園

来島海峡大橋を渡り、大島に入ったところでいったん小休憩をとった。ゴールデンウィークのさなかでもあるため、しまなみ海道は大勢のサイクリストで賑わっている。しかし、大島の西海岸を走るサイクリストは少ないようだ。静かな棕名の公園で来島海峡大橋と海を眺めながらのんびり10分ほどくつろいだ。



■10:40 大島/吉海商店街・お肉と総菜 西屋

前週のぐるポタツアーで評価の高かった「お肉と総菜 西屋」を再び訪れ、焼き豚を賞味してもらった。ちょうど小腹の空いたタイミングだったので、絶好のエネルギー補給になった。今回もやわらかさと味のよさで参加者には好評。こうしたものが味わえるのも、地元をよく知る団体が企画したツアーだからこそその意見をいただいた。



■11:30 伯方島/伯方SCパーク

道の駅伯方SCパークには、サイクルスタンド「Mr.HAKATAJIMA」が設置されている。これは一昨年行われたサイクルスタンドコンテストで最優秀作品となったもので、大島・伯方島・大三島と今治に設置されたユニークなサイクルスタンド。新しい自転車の名所としてサイクリストの人気となることが期待されている。愛車と一緒に記念撮影してもらった。



■12:00 大三島/鼻栗瀬戸展望台

大三島橋と鼻栗瀬戸を見下ろす鼻栗瀬戸展望台にて、ランチを楽しんでもらった。このツアーのために大三島在住の吉川氏に料理を依頼。メニューは猪ストロガノフのオムライスと摘み草サラダ。東屋に簡易キッチンを設置し、その場でオムレツを焼いて供すという趣向で、参加者にとって大きなサプライズとなった。



■14:00 伯方島/大角豆島

伯方島北東部にある大角豆島。到着したときにはすでに潮が引いており、海岸から大角豆島まで一直線に道ができていられるのを見ることができた。堤防に自転車を止め、歩いて島を一周。岩にしがみついている貝やイソギンチャクなど、磯の生物を観察しながら歩いた。地元の人によるとタコを獲ることもできるそうだ。



■15:30 大島/サイクルオアシス「民宿 千和」

帰路、大島水軍ロードにあるサイクルオアシスの民宿 千和で休憩をとった。千和の女将さんは面倒見がよく、サイクリストの世話もよくしている。今回も話をしているうちにタコ天とタケノコの天ぷらをごちそうしてくれ、しまなみの人たちの人情の厚さをしみじみ感じさせてもらった。ちょっとしたハプニングだが、参加者にも喜んでもらった。

■16:30 JR波止浜駅 ゴール・解散

約70kmのロングツーリングであったが、驚きの演出や予定外のハプニングがあるなど変化に富んだ企画になり、参加者には大変喜んでもらった。大角豆島は知っている人も少なく、驚きを持って訪れることができる場所だ。こうした知られざる魅力はまだたくさんある。こうした魅力をツアーに盛り込んでいきたい。



#### ④ パートナーツアー

○毎日新聞旅行（毎日新聞旅行主催ツアーのアテンド業務委託）

内容：しまなみ海道を2日間かけて縦断するツアーのアテンド。（今治国際ホテル宿泊プラン）

実績：平成26年4月5日（土）・6日（日） 催行中止

平成26年5月17日（土）・18日（日）催行中止

○JTB しまなみ海道タンデム自転車ツアー

内容：来島海峡大橋、大島での島グルメを楽しむツアーのアテンド。（関西圏からの来訪者中心）

実績：平成26年5月5日（月） 2名

平成26年6月7日（土） 3名

#### ⑤ オーダーメイドツアー

個人オーダーメイドツアー、社員旅行等の団体オーダーメイドツアーを企画、主催した。

○内容：しまなみでの自転車の個人旅行を個別にコーディネートした。

実績：平成25年4月2日（火） 4名（グループ旅行）

○内容：しまなみでの自転車の団体旅行を個別にコーディネートした。

実績：平成26年4月8日（火） 5名

実績：平成27年3月14日（土） 7名

#### ⑥ ガイド派遣

旅行会社主催のツアーへのガイド派遣を行い、しまなみ自転車旅行をナビゲートした。

○岡ツアーズ

内容：外国人サイクリストを率いてのサイクリングツアーのアテンド

実績：平成26年11月9日（日）

○ウナギバストラベル

内容：ぬいぐるみ専門の旅行代理店のツアーのアテンド

実績：平成26年11月12日（水）

#### ⑦ モニターツアー

株式会社JTB中国四国（中国西営業部）と連携し、瀬戸内着地商品造成と販路拡大を目指して、モニターツアーを催行した。

実績：平成27年3月7日（土） 10名



## 6. 物品販売

### ①商品開発

「ゲストハウス シクロの家」・「なみかた海の交流センター」の機能強化等を見据え、商品展開のバリエーションを多様化した。

○しまなみの波・山・そして時間を感じるオリジナル商品の開発

○シクロテイストを感じる他社商品の委託販売を検討

### ② 商品販売

当会の顔となっている「島走」商品の戦略的販売（「島走」の一部は当会の商標）

「島走 BOOK」「島走 MAP」「島走 T シャツ」の販売数を高めた。

## 7. 自転車まちづくり

### ①講師派遣

しまなみ自転車振興等に関することについて、依頼に基づき、講師を派遣した。

平成26年 4月8日（火） 4月9日（水）	四万十市西土佐商 工会	自転車を活用したまちづくりを進めようとしているコアメンバーを対象に、講義・ツアー体験・意見交換を実施。当会のビジョンと活動を伝え、交流創出による地域活性化の可能性を共有した。
平成26年 5月29日（木）	中国・四国地区愛 徳会	「中国・四国地区愛徳会」の春季総会・例会アジェンダにおいて基調講演。しまなみサイクリングの魅力、サイクリストの受入基盤整備を紹介し、地域活性化に資する連携体制を検討した。
平成26年 6月11日（水）	公益財団法人フォ ーリン・プレスセ ンター	外国人サイクリスト誘客を進める愛媛県の現状を視察する一行を対象にした講話とフィールドワークへの講師派遣。しまなみの自転車振興の歩みと官民の役割分担を伝えた。
平成26年6月25日 6月25日（水）	旅の本屋 のまど	瀬戸内・しまなみを紹介する本の著者によるジョイント企画に参加。しまなみの暮らしを伝え、地域を守り・育てる視点で取り組んだ「しまなみ島走本」を紹介。松島むうも参加。
平成26年 7月3日（木）	愛媛県公民館連合 会	愛媛県内の公民館職員を対象にした研修会。県内各所で毎年1回行っている研修会で、今年度は愛媛・しまなみ開催。サイクリング体験も実施することを踏め、自転車まちおこしの取組を紹介。
平成26年 7月23日（水）	宮崎県サイクリン グ振興団体	サイクルトレイン運行等、サイクリスト受入のための基盤整備を進める宮崎県内の活動家への講演。しまなみでの住民活動、官民協働体制の構築のプロセスや役割分担を提言。
平成26年 8月2日（木）	環境省	相馬みちのくトレイル構想・整備を進めるにあたって、住民参画型のサイクルオアシスの事例提供。住民参画のプロセス、持続可能な運営について教示。
平成26年 8月8日（金）	しまなみ地域活性 化推進協議会連合 体	大三島の自然を守る活動を続ける中、自転車によるエコツアーを企画する方への講義。自転車と環境の連動性、エコツアーの可能性を共有しつつ、ガイドの心得を伝えた。
平成26年 8月22日（金）	松山商工会議所	サイクリング特別委員会メンバーへの講義。サイクリスト拠点づくり、サイクリングによる地域経済活性化の研究・提言活動に資する内容の講演。
平成26年 8月22日（金）	愛媛県南予地方局 商工観光室	「南予道の駅 魅力・発信力講座」講師。しまなみのサイクリストの受け入れ体制を聞きたいとの依頼で、サイクルオアシスの運営をベースに、おもてなし・宿での受け入れ等を紹介した。
平成26年 10月4日（土）	奈良県道路環境課 主催	奈良県への自転車誘客を図ることを目的に、人口規模が大きい東京圏でのPR。自転車旅行の魅力を伝え、しまなみにおける地域活性化に通じるおもてなしの事例紹介を担当。

平成26年 11月4日（火） 11月12日（水）	愛媛大学附属中学校	愛媛県が力を入れる自転車による観光振興の取組、しまなみ海道サイクリングの魅力を体験型で学ぶ授業を担当。授業を選択した40名余りに講義とサイクリング体験アテンドを行った。
平成26年 12月16日（火）	サイクル・ツーリズム北海道推進連絡会:(株)JTB北海道	観光庁事業「観光地ビジネス創出の総合支援事業」の一環として開催するガイド養成講座を担当。北海道のまちづくりにつながるサイクリング観光客誘致に向け、ガイドの役割などを伝えた。
平成26年 12月16日（火）	愛媛大学法文学部総合政策学科	「観光まちづくり」を担う地域リーダー養成を主目的とする学科の講義を担当。観光とまちづくりの関係を整理し、地域活性推進に役立つ観光振興の意義などを講義した。
平成27年 1月11日（日）	八幡浜市公民館連絡協議会	八幡浜市内の17地区の公民館の関係者が、地域の拠点となる公民館活動の充実に向けて学ぶ研修会の講師を担当。住民参画型で進めてきた観光交流振興のポイントなどを講義した。
平成27年 1月21日（水）	愛媛県土木部道路都市局道路維持課	愛媛県が進める「愛媛マルゴト自転車道」。推進の担い手となる自治体職員の方などが自転車による観光交流まちづくりの視点を学ぶことを目的にしたパネルディスカッションパネラーを担当。
平成27年 1月23日（金）	下諏訪商工会議所	下諏訪エリアの滞在型の観光振興を目指す行政・企業のネットワーク組織へ向けた講義を担当。まちづくりの観点から自転車を活用してきたしまなみの経緯、参画型まちづくりの大切さを伝えた。
平成27年 2月5日（木）	松山卸商団地	サイクリストの往来が増える国道196号沿いの商店主を対象にサイクリングによる地域経済活性化について講義。自転車旅行振興によるまちづくり、地域と旅人をつなぐ担い手や場づくりを伝授。
平成27年 2月13日（金）	今治市	自治体とNPOの協働を学ぶ研修会の講師を担当。今治市と取り組んだまちなか再生事業、地元企業と連携した受入基盤整備など、自転車による地域活性化の事例を元に、協働の基本を共有した。
平成27年 2月18日（水）	南予地方局産業経済部産業振興課	南予エリアの宿泊施設のオーナーの方などを対象に、自転車旅行者の受入基盤整備について学習する催しでの講師を担当。必要な設備や喜ばれるサービスなどについて、意見交換しながら進めた。
平成27年 3月8日（日）	社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会	シニア世代を対象にした自転車新文化の普及促進を目的とした講演会へ登壇。自転車の魅力、スポーツバイクを利用した健康増進などを紹介した。

## ②視察受入

自転車を活用した地域活性化などについて、事前予約制で個別相談、視察を受け入れた。

平成26年 12月3日（水）	下諏訪商工会議所	商工会議所を事務局に、滞在型まちづくりを推進する担い手7名。自転車を活用した地域活性化などについて情報交換。
平成26年 12月5日（金）	石見観光振興協議会	事務局を担当する島根県西部県民センター2名。イベントを企画する立場から、イベントと両輪で進めるまちづくりを情報交換。
平成27年 2月10日（火）	高知県西部NPO支援ネットワーク	高知県西部エリアのまちづくりの中間支援機能の今後を検討する中で、サイクルツーリズム振興の方策を意見交換。
平成27年 2月12日（木）	一橋大学社会学部鈴木直文ゼミナール	大学ゼミの研究の一環として視察を受入。住民、行政、NPOそれぞれの地域振興への思い、連携、地域課題の本質を議論。
平成27年 2月21日（土）	縁PO	日露交流の入口の活動として、日本の文化と言える「コスプレ交流」、愛媛の観光力点「自転車交流」の融合の手法を相談。
平成27年 3月13日（金）	特非やまなしサイクルプロジェクト	当会の企画・運営、自治体との関係、資金調達などの運営相談を中心に懇談。ターゲットとまちづくりに資するビジョンを懇談。
平成27年 3月17日（火）	滋賀プラスサイクル協議会	滋賀県、事業者、市民などが自転車を地域の交通手段として位置づけを検討する中、しまなみの自転車ネットワークを視察。

## 8. 審議会・委員会・意見交換会への参加

しまなみの自転車振興や関係機関との連絡調整等に関する会議等に参加した。

平成26年 4月5日（土）	なみかた海の交流センター設立総会 なみかた海の交流センター運営協議会 主催	7月にオープン予定の「なみかた海の交流センター」における交流創出を支援する立場として協議会事務局を担当。
4月14日（月） 5月8日（木） 5月29日（木） 12月22日（月）	今治市中心市街地再生協議会総会 部会長会議 今治市中心市街地再生協議会主催	総会では作業部会「サイクル部会」のまちなか再生事業を報告。部会長会議では平成27年度以降、事業推進体制が大きく変わることから、体制整備、ビジョン再構築を議論した。
平成24年 7月25日（水） 3月22日（金）	しまなみ周遊サイクリング普及事業連絡会議 愛媛県今治支局総務県民室主催	自転車による周遊・滞在型の旅行スタイルを普及させるための各種情報交換、事業の円滑・効果的に実施のための会議を開催。

## 10. 今治市中心市街地再生事業 事務局（事業主体：今治市中心市街地再生協議会サイクル部会）

「しまなみ海道」を目的地に訪れる自転車旅行者を、中心市街地まで誘客し、賑わい創出を目指す「サイクル部会」の事務局を担当。まちなかでの自転車の利用環境を高め、まちなかの自転車による「回遊性」「移動性」を高める実験的取り組みを踏まえ、交流人口拡大に資するしくみづくり、自転車安全運転等の啓発イベントの開催等を実施した。

※詳細は別紙「今治市中心市街地再生協議会サイクル部会の取り組み」参照

### (1) 回遊ネットワークに対する取組

#### ① サイクルオアシス



◀オアシス拡充にあたり、しまなみの担い手の思いを共有する「オアシスミーティング」を開催。



◀しまなみ-はまかぜラインにオアシスを追加整備。まちなかオアシスにはサイクルリストへの特典も。



◀JR今治駅前・波方港にサイクルオアシス総合拠点整備。旅人と住民をつなぐ拠点だ。

# サイクリスト泊まって

## 今治のNPO法人7月開設

今治市のNPO法人シクロワーズしまなみ（山本優子代表）は7月、同市北来町1丁目のJR今治駅前にサイクリストの宿泊交流施設を開設する。料金を抑えて周遊・滞在型の旅行需要を喚起し、中心市街地の活性化にもつなげる考え。

名称はしまなみクエストのほか、旅行者と市民が自由ウエストの家の飲食店等に交流できリビングも改装した木造2階建てで、個々のシクロのスタッフら数人室1つを設け、ドミトリー相部屋が常駐し、サイクリング専用部屋の収容人数約20人。その助言も行う。料金は個室が1泊3千円、ドミトリーは2千円。県内が瀬戸内しまなみ海沿線は2500円で、食事も道沿線で整備を進めている休憩所「サイクルオアシス」の別所「サイクルオアシス」の中核との位置付けで、山本代表は「旅行者同士や地元住民との交流を通じて、今治たい」と話している。（野田貴之）

### 格安料金で20人収容

JR今治駅前に7月開設されるサイクリスト向け宿泊交流施設

●平成26(2014)年5月22日 愛媛新聞

② 安心・安全な自転車利用環境の整備



▲いまばりスマートライド2014。地元高校生の参画からスタートした「シェアザロード」の啓発活動は官民あげての取り組みへ発展した。



▲自転車のルールをクイズ形式で学び、自らが安全運転を宣言するしくみは分かりやすさが定評に。他市での実践に拡充した。



③ サイクルスタンド「6人のシクロ・ツーリスト」の設置



◀JR今治駅前のオブジェはサイクリスト以外の市民の目にもとまり、話題となった。

▲「回遊促進」「自転車先進都市に相応しいデザイン」そんなテーマで開催した「デザインコンテスト」の最優秀作品の設置が5体完了。オアシスポイントともマッチし。回遊が始まる。ラスト1体は今治城に。



(2) 他、活性化に資する取組

① 三世代交流のスマートライダー育成事業



▲海と共に発展してきた村上水軍の活躍等を体験できるストーリー性のあるコースをコンセプトに、潮流、みかん畑、橋をイメージした障害物を配し、それらをクリアする移動式サーキットへとグレードアップを図った。



▲「瀬戸内しまのわ2014」が開催された今期。各種イベント会場でヒロバを開催。土曜夜店は恒例に。



▲「瀬戸内しまのわ2014」の企画として選手権を開催。アドベンチャーコースを満喫いただけた。